

LEXUS

©LEXUS

LC500h / LC500



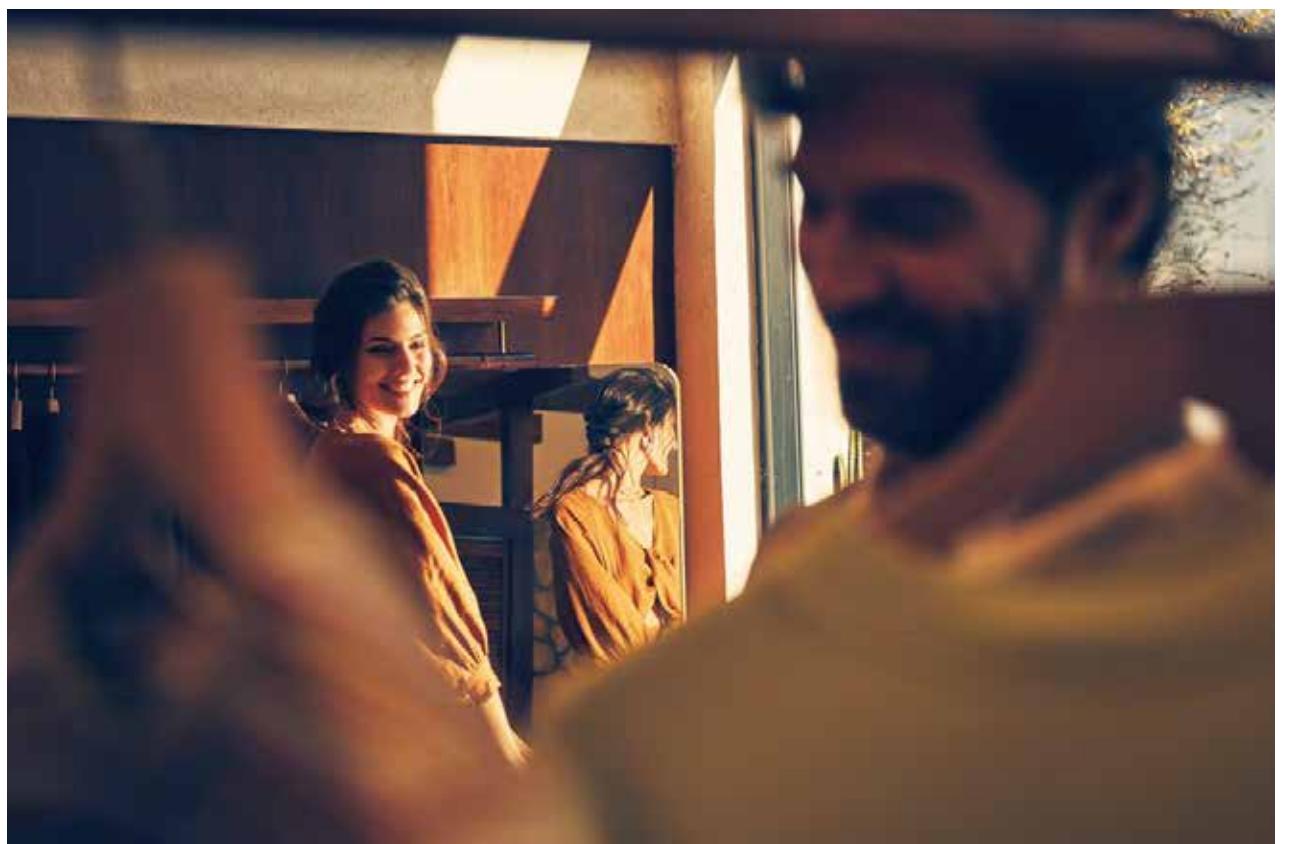
LC
LC500h / LC500

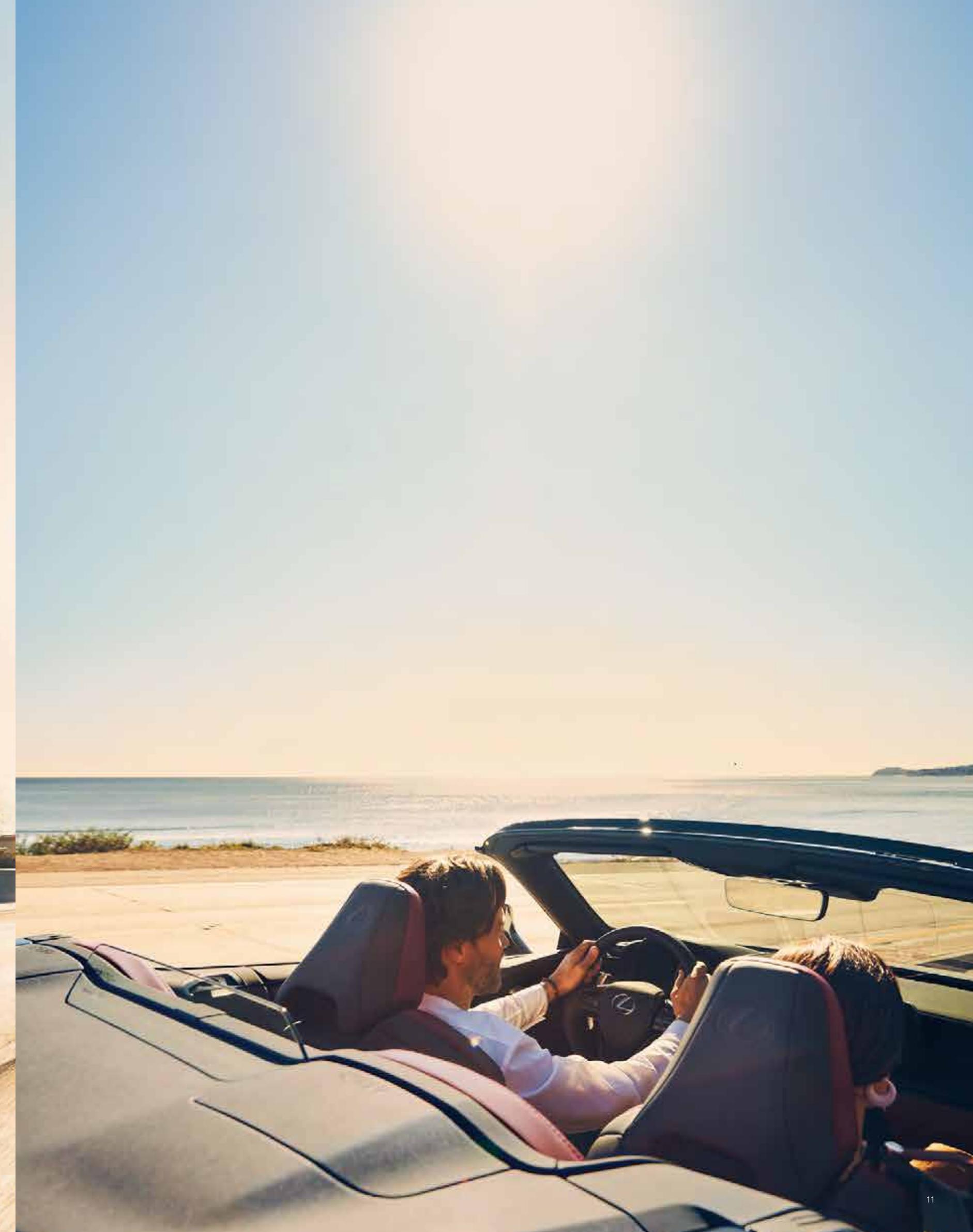


LEXUS
EXPERIENCE AMAZING

























挑戦するデザイン

2012年、デトロイトオートショーで発表され、大きな反響を呼んだコンセプトカー「LF-LC」。タイヤとの隙も無いほど低く抑え込まれた車高、超ワイドな車幅。製品化を前提としないデザインスタディモデルでありながら、その醸し出す雰囲気は、未来のレクサスを感じさせる「原石」といえる存在でした。LCは、デザインの可能性を示したその原石を、実際に公道を走るクルマとして、より魅力的に具現化することに挑戦。それは、技術を革新することで新たなデザインを創造する、新世代レクサスの幕開けを象徴するものでした。



Photo: LF-LC.

美しさと、走りの魅力の一致

LCは、LF-LCのデザインイメージをモチーフに、デザインと走りで新世代レクサスを担う、新たなプラットフォーム開発の機会を得たことを最大限に活かし、デザインを創り上げていきました。プラットフォームのレイアウトには、エンジンをフロントアクスルの後方・低位置に配置したフロントミッドシップレイアウトを採用。これによって、すぐれた運動性能だけでなく、エンジンルーム上方に余裕が生まれ、低いフードのデザインが可能となります。LCは、この特徴を活かして低く伸びやかなフロントフードからルーフラインへとつながる、ダイナミックなプロポーションを創造しました。そしてこの低いフードの実現にはフロントサスペンションが大きく寄与しています。幾度にもわたるジオメトリー検証を経てジョイントの取り付け位置を最適化することにより、走行性能

と乗り心地を両立しつつ、低フード化を果たしたのです。

デザインの挑戦は、それを実現する技術を伴ってはじめて、一台のクルマとして成立することになります。走りを追求することと、デザインの魅力を高めるベクトルが一致して生まれたデザイン、それがLCです。



エレガンスと機能の両立

デザイン開発を進めるうえで、エクステリア・インテリア共通のデザインテーマを設定しました。それは、先進技術を数多く盛り込みつつ、それらが主張することなく、大人の色気を感じさせるエレガンスで統一したテイストです。サーキットのみが似合うクルマではなく、ドライバーのライフスタイルを感じさせる併まいをめざしました。そのエレガンスを象徴するデザインのひとつがフロントピラーです。ピラーの位置を車両後方に移し、角度と曲率、細さにまでこだわることで伸びやかなシルエットを強調。これにより、ドライバーの視界の良さも確保しています。また、フロントピラーからタイヤに向かって伸びるフレアを作り込み、そこに差すハイライトがあたかもドライバーが手を伸ばしたかのように見えることで、クルマとの一体感を表現しました。このように、一見すると機能と相反するエレガンス





運転席・助手席、 それぞれの心地良さを追求

ひとりで走りを楽しみたい時にも、パートナーと過ごす時間を大切にしたい時にも、LCは、乗員の期待に応える心地良さを提供します。コックピットは、ドライバーを緩やかに囲む造形を両サイドに取り入れ、クルマとの一体感を生み出す空間としました。助手席は、パッセンジャーを程よく包み込みながら前方に向かって広がりを感じさせる造形によって、開放的な空間を演出しています。運転席と助手席で非対称を成すふたつの空間を融合することにより、ドライバーとパッセンジャーがともに心地良く感じられる室内空間をデザインしました。

操作の所作まで美しく

人が機械に合わせるのではなく、人の気持ちに寄り添う配慮を徹底し、人との接点のあり方を機能美として表現するために、クルマとの対話をより楽しむことができるコックピットを考え抜きました。人とクルマが一体となるために重要なことの第一はドライビングポジションです。ヒップポイントとヒールポイントの高低差の少ないスポーティな姿勢を基準に、ホールド性の高いシート、操舵角を認識しやすいステアリング傾角、自然なペダルワークを促すペダル踏面角を検証。クルマ

に思い通りの入力を与えられる、スムーズで正確な操作性を追求しました。さらに、スポーツ走行を楽しむための視界の良さも大切にしています。シートに座るとまずステアリングとメーターが目に入るように設計し、走りへの気持ちが自然と高まるようになりました。走り出せば、コーナーの先まで見渡せる広い視界をフロントピラーと薄型インストルメントパネルにより作り出し、運転を安全に楽しめるようにしています。スイッチやレバーの操作系では、レイアウト、操作感、素材の



手触りまで追求し、一連の操作が心地良く感じられ、無意識に所作が美しく見えるように綿密に造り込みました。始動から発進までのスタートスイッチ、ドライブモードセレクトスイッチ、シフトレバーは、操作する左手が滑らかな動線を描くように配置。シフトレバーのレイアウトもステアリングから手を大きく動かすことなく操作できる配置とし、パドルシフトはステアリングを握ったまま操作できる形状に加えて、素材に採用したマグネシウム特有の硬質な金属質感により、素早く軽快に操作を行うことができます。また、空調スイッチはインストルメントパネルに、オーディオスイッチはフロントコンソール前端にそれぞれまとめて配置し、スムーズな操作が行えるように配慮。オーディオスイッチは高級オーディオの重厚な操作フィーリングを感じながら、ダイヤル形状に合わせた分かりやすい操作性により、ブラインドタッチも可能です。

TAKUMIのインテリア

室内空間はレザーやアルカンターラ®の表皮で覆い、金属素材とのコントラストが際立ったエレガントなデザインにより、本物が持つ美しさと豊かな質感を表現しました。表皮巻き、ステッチなど、職人の手により一つひとつ造り込まれた贅沢な空間が非日常的な時間を演出し、所有する歓びを高めます。その室内にあって、熟練した職人による手技の極みのひとつがシフトノブです。無垢の金属を革で包み込むという、LCのインテリアイメージのもとにデザインし、手を触れた時にも本革らしい質感の良さが伝わるように、縫製には生地の表に糸を見せないインステッチという手法を採用。本革の滑らかな触感のみが感じられるようにしています。そして、最後の仕上げにも丁寧さを貫きました。しわを抑えること、真っ直ぐに縫い目を通して、さらにインステッチは縫製のわずかな

違いで見え方が変わるために、糸の太さや縫製ピッチ、針の太さや向きまですべてを検証し、きめ細やかな美しさを追求しています。

また、ドアトリムには、ドレープ形状のオーナメントを施した上に、しつとりと滑らかな質感、繊細なタッチで五感を心地良く刺激するアルカンターラ®を採用しました。細部の断面にまで表皮を巻き込ませた緻密な仕上げにより、落ち着きやくつろぎだけにとどまらない、上品でエレガントな雰囲気を味わうことができます。



*素材はグレードやパッケージにより設定に差があります。詳しい設定につきましては、P108-119にてご確認ください。



LCのDNAを継承する コンバーチブルデザイン

クーペと並ぶLCシリーズの一員として登場したLC500 Convertible。デザインする上でめざしたのは、LCのデザインモチーフを保ちながら、コンバーチブルとしての個性を追求することでした。例えばサイドビューでは、駆け上がるようなベルトラインによってLCのDNAを明快に表現。さらにコンバーチブル最大の特徴と言えるルーフにおいては、ファブリックの質感やフレーム構造を吟味し、ソフトトップの最適な張り具合を検証することで、いかなる瞬間もスタイリッシュかつエレガントな印象を与えるシルエットとしています。一方リヤに視線を移すと、目に入ってくるのはリヤエンドの跳ね上げによって生まれた伸びやかでダイナミックな後ろ姿。さらにトランクリッド上部を横方向に広げリヤのワイド感を際立たせるなど、LCらしさを保ちながらコンバーチブルとしての魅力も体現しています。



「インテリアもエクステリアである」と考えた内装デザイン

LCとしての統一感とコンバーチブルならではの独自性を一台の中に調和させる。これを実現できたのは、クーペ開発時から変わらない「LF-LC」のデザイン思想が根底にあったから。まるで双子のように、紛れもない“LC”のコンバーチブルが誕生しました。

LC500 Convertibleは「インテリアもエクステリアである」というコンセプトのもとに内装をデザイン。特にフロントシートにはその想いが表れています。キルティングとパーフォレーションをあしらったシート肩口には、さらに金属と革を調和させたベルトガイドを。ヘッドレストにはブランドをさりげなく主張するLマークのエンボスを。そしてシート背面のウォークインレバーには金属調の縁取りを施すなど、コンバーチブルならではのディテールを作り込んでいます。



*1. カラーの詳しい設定につきましては、P104-107、114-115にてご確認ください。

技術に裏打ちされた優雅なルーフ

約15秒という、クラストップレベル^{*2}の速さを実現したソフトトップルーフの開閉動作。しかしLCでは、ただスピードだけを追い求めるのではなく、開閉動作の中にもレクサスらしさを織り込んでいます。意識したのは、ルーフの動き出しや動作の切り替え時に0.2秒程度のタメを設けること。その結果、緩急がついた書の筆運びにも似た、優雅な開閉動作を実現しました。さらに「エレガンスと機能の両立」を掲げるLCでは、コンバーチブルにおいても優雅さと同時に機能性も厳しく求めています。例えば、ルーフの格納スペースとすっきりとしたリヤの見映えを保ちながら十分なラゲージスペースを確保すること。あるいは、ソフトトップの耐久性を徹底的に調査するため、約18,000回にも及ぶ開閉実験を重ねるのはもちろんその先の壊れ方まで気を配ること。開発陣が積み重ねたのは、

あらゆる角度からの質の検証でした。これら的一つひとつに答えを出していくことで、完成度を高めたソフトトップルーフ。技術に裏打ちされた優雅なルーフが、LCの新たな楽しみを開きます。



*2. 4人乗りフルノカバー付ソフトトップルーフクラスでの比較。
2020年6月時点。トヨタ自動車(株)調べ。



LCらしさを特徴づける、走りの3要素

- リニアで、すっきりとしたステアリングフィール
- 減速・旋回・加速における、心地良い走りのリズム
- ドライバーの高揚感を高めるエンジンサウンド

FR車の魅力。それは、ダイナミックなプロポーションと走りの楽しさに凝縮されます。FRの走りの楽しさは、前輪と後輪で操舵と駆動の役割が分かれていることによる素直なハンドリング。LCは、このようなFRらしさの中に、レクサスが培ってきた優雅さを大切にしつつ、独自のドライビングテイストを作り込みました。

走ることそのものに歓びが溢れ、走り終えたあとにも心が余韻で満たされる。こうしたドライバーのエモーショナルな感覚に応える走りをめざし、走りの特徴を3つの要素に定めて開発しました。

徹底的に鍛え上げたクルマの素性

走りのキーワードは「より鋭く、より優雅に」。「より鋭く」とは、リニアで、すっきりとしたステアリングフィール。「より優雅に」は、コーナーを走り抜けていくクルマの荷重変化のつながりの良さや変速の心地良さです。具体的には、入力に対するレスポンスにこだわった正確でリニアな応答特性と、無駄のないスムーズな車両姿勢の変化。

LCは、この素直なクルマの動きを磨き上げるために、基本性能をさらに向上させることに取り組みました。あらためてフォーカスを当てたのは、LCが本来備えているクルマの素性や性能、体幹を強化し、さらに、その強化した体幹を最大限活かすために、サスペンション、ブレーキ、タイヤ、シフト制御に至るまで最適なチューニングを施しました。タイヤについては、21インチノーマルタイヤを全車に標準装備^{*}することで、レクサスの原点である静肅性

に配慮しつつ、より快適な乗り心地を追求しました。

これらの取り組みにより、ドライバーの意図がクルマに、クルマの挙動がドライバーに正確に伝わるという「対話」を楽しめるハンドリング、上質な乗り心地、そして、日常走行からスポーツ走行まで、あらゆるシーンでコントロールしやすいアクセルとブレーキのフィーリングを実現しました。さらにクーペではリニアでなめらかな車両挙動と高次元の回頭性・安定性を追求し、コンバーチブルでは優雅さとすぐれた回頭性の高いバランスを両立しています。

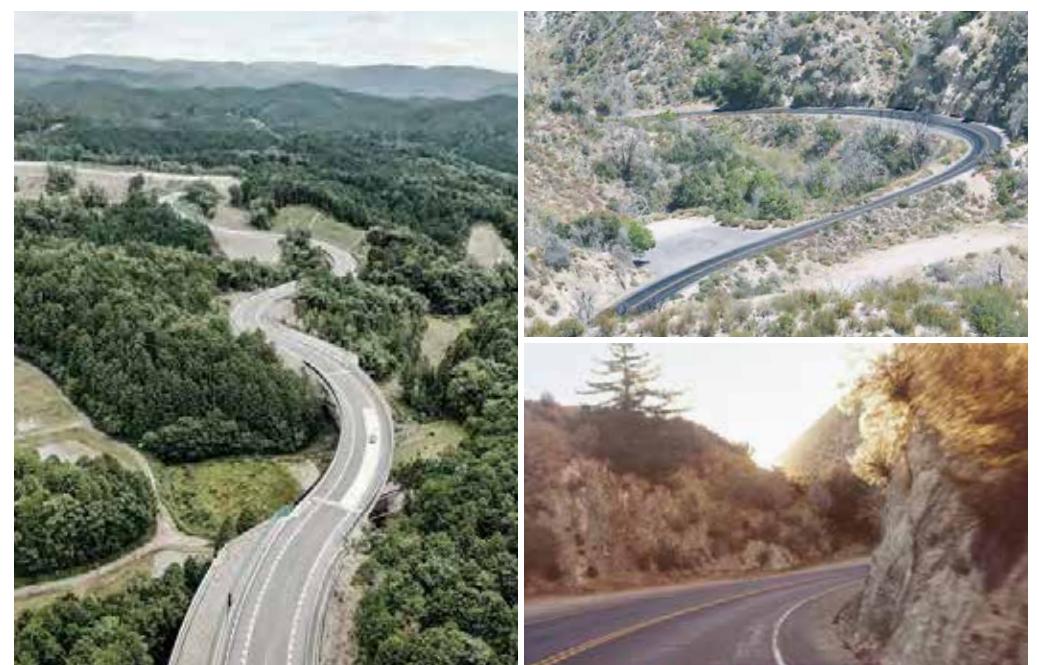
より自然体で、気持ちよく走れるクルマへ、LCは深化した「より鋭く、より優雅に」を提供します。

*メカーオプションのランフラットタイヤも設定しています。

Shimoyamaで深化させた「より鋭く、より優雅に」

「クルマは道がつくる」という考え方のもと、LCが走行開発の新たな道に選んだのが、Toyota Technical Center Shimoyama。世界一過酷と呼ばれるドイツ・ニュルブルクリンクを研究し尽くした全長約5.3kmのコースには、自然の地形を活かした約75mの高低差に加え、波打つ路面や、さまざまな角度のコーナーが絶え間なく続き、ジャンピングスポット、ブラインドコーナーも数多く点在。世界中の多種多様な道を再現したコースです。

走行開発のマスターロードとしたロサンゼルスのエンジェルス・クロス・ハイウェイや、ニュルブルクリンクをはじめとした世界中の道を走り込んできたLCは、Shimoyamaという新たな開発拠点を加えて、「鋭く優雅」な走りを日々磨き上げています。



Toyota Technical Center Shimoyama

エンジェルス・クロス・ハイウェイ(上下)



走りの常識を塗り替える、 世界初*マルチステージハイブリッドシステム

レクサスはハイブリッドの先駆者として、そのポテンシャルを高めることが使命であるとの想いを持って開発したハイブリッドシステムを、LC500hに搭載しました。従来からのすぐれた特性である低燃費、静粛性、上質な走りはそのままに、ハイブリッドならではの素早く最大トルクが立ち上がるモーター特性を活かし、ダイレクトなレスポンスをより高めることと、気持ちの良い加速感の実現をめざしました。LCに搭載したマルチステージハイブリッドシステムは、レクサス・ハイブリッド・システムに変速機構を直列に配置した、世界初*の機構。エンジンとモーターの駆動力を増幅することができとなり、発進時や中・低速域からの加速性能を向上。さらに、ワイドレンジに使用できるようになったシステムを10段変速制御すること

により、心地良い走りのリズムを実現しました。また、車両の前後・左右加速度遷移からドライバーの運転意図を読み取るDMI制御を採用し、ドライブモードを切り替えることなく、走行シーンに合った最適なギヤ段の選択が可能となりました。ワインディングが連続する道で、加速したいとアクセルペダルを踏み込めば瞬時にトルクが発生し、減速したいとアクセルペダルを離せば瞬時に減速感が得られる。思いのままに加減速しながらクルマを操るその感覚は、ハイブリッドならではの新たな走りの魅力を提供します。



走りのリズムを追求したDirect Shift-10AT

V8 5.0 ℥ エンジンを搭載するLC500には、乗用車モデル世界初*となる10速オートマチックトランスミッション「Direct Shift-10AT」を採用しました。Direct Shift-10ATは、高効率・小型・軽量という基本性能向上に加え、クルマの走りと調和した心地良い変速のリズムと、大排気量V8エンジンの特性を活かした気持ち良い走りをめざして開発しました。気持ち良い変速のリズムを作り出すためにローギヤ段をクロスステップ化するとともに、クルージング時の静粛性と低燃費実現のためにトップギヤをハイギヤ化し、全体をワイドレンジ化。走りと燃費の両立にこだわった10速のギヤ段を設定しました。

変速リズムを作り出すためには変速スピードも重要なファクターであると考え、世界最速レベル*を目標に、構成部品の軽量化、油圧応答性や精度の向上により、Dレンジ約0.2秒の

素早い変速を達成しています。ひとたびアクセルを踏み込めば、最適なギヤステップ、切れ味鋭い変速、躍動感溢れるエンジンサウンドが一体となって気持ち良い加速感を味わうことができます。さらに、クルマの走りと調和したリズム感を創出する新しい変速制御を採用。アクセルやブレーキ操作、車両の前後・左右加速度からドライバーの意図を読み取って、最適なギヤ段に素早く変速。あたかも自分でMTを操っているかのような思いのままの走りをDレンジで実現しています。地平線へと続く真っ直ぐな道やワインディングロード、極限の走りに挑むサーキットなど、あらゆるシーンで心地良いリズムを奏でる走りを生み出します。



*2017年3月時点。トヨタ自動車(株)調べ。



動と静のサウンドデザイン

気持ち良い走りを五感で感じ取れるように、LCは独自のサウンド哲学を持って音を作りました。加速時にはエンジンサウンドに気持ちが高ぶり、クルージングでは静かな室内でオーディオサウンドに浸る。動と静を際立たせることでお互いの印象を高め合い、サウンドと一体となったドライビングを提供します。

高揚感を高めるV8エンジンサウンド

V8エンジンは「天使の咆哮」と呼ばれるLFAのサウンドデザインを継承し、エンジン回転数に呼応して3つの周波数の音を際立たせたサウンドを追求。ドライバーの高揚感を煽る高周波の突き抜けるようなサウンドを奏します。この高周波サウンドの一部はサウンドジェネレーターで発生させ、インテークホースを介して車内に取り込み、さらにインテークホースの管長・管径をチューニングし、澄み渡る高周波音のハーモニーをエンジンサウンドに付加しています。また、エキゾーストシステムは排気管の共鳴構造を最適化して3,000r.p.m.以下の音圧レベルを高め、躍動感を演出。さらにマフラーバルブの開閉により、加速シーンに合わせてサウンドをコントロールします。

LC 500の室内は、このフロントとリヤに採用したサウンドテクノロジーにより、音源が切り替わ

るドラマティックなサウンド空間を実現しました。エンジン回転が高回転になるまでは後方からのエキゾーストサウンドにより加速の押し出し感を、エンジン回転が高回転域に達すると前方からのインテークサウンドにより加速の伸び感を演出します。走りと一体化した、コンサートホールのような広がりを感じるサウンドがドライビングプレイヤーをさらに高めます。



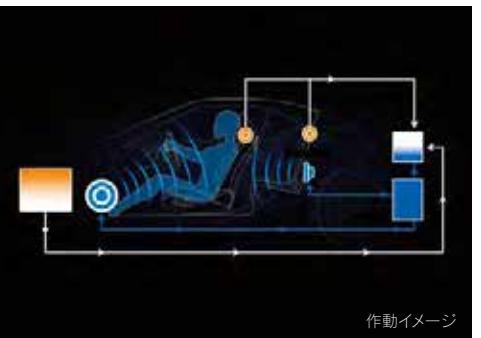
コンバーチブルならではの静謐性

ドライブの高揚感を高めるV8エンジンサウンド。中でもコンバーチブルは、ルーフを開くことでこのサウンドをダイレクトに楽しめるという醍醐味を持っています。そのためLC 500 Convertibleでは、ノイズを抑えながら気持ちの良いエンジンサウンドを際立たせる工夫を随所に施しました。

タイヤや排気管からのノイズをルーフ格納部で効率的に吸音するために、ルーフ格納部トリム自体に吸音する素材を採用。トリム裏面に配置された吸音材と相まって、ノイズ低減を実現しています。

また、心地良いエンジンサウンドを引き立てるために、エンジンやドライブトレーンから発生する低周波ノイズ(こもり音)を低減するアクティブノイズコントロールを設定しました。クーペで採用しているシステムは、ルーフと

リヤシート付近に集音マイクを設置し、ノイズを把握して打ち消すのですが、ルーフが開閉するコンバーチブルでは集音マイクをフロントシートのヘッドレストとリヤシート付近に内蔵。これにより、ルーフを開けている際にもシステムを作動させることができます。



作動イメージ



人間中心のレクサス思想に基づく空力・空調コントロール

コンバーチブルだけに許された特別な体験、オープンエアドライビング。風を感じながら走るその時間を心ゆくまで楽しんでいただくために「空力デバイスによる巻き込み風の調整」と「快適な体感温度をもたらす空調制御」という2つの観点で、風をコントロールすることをめざしました。

まず巻き込み風に関しては、60km/h程度までのオープン走行中に効果を発揮する標準装備のウインドディフレクターと、主に高速走行に対応するディーラーオプションのウインドスクリーンを用意。日常走行でも高速走行でも、風による髪の乱れを抑え、会話しやすい室内環境を作り出します。一方で、コンバーチブルというクルマの特性上、風の流れや音を完全に排除してしまうのではなく、適度に風を感じながら快適に走れるという点を大事にしてこれらの

空力デバイスを開発。ルーフの開閉や風とともに走るコンバーチブルならではの喜びを邪魔しない素材、形状、取り付け位置を妥協なく吟味しています。

このような巻き込み風調整に加え、同じく重点的に取り組んだのが空調システムの制御です。LC500 Convertibleでは、レクサス クライメイトコンシェルジュがエアコン、シートヒーター、シートベンチレーション、ステアリングヒーター、



※写真はウインドスクリーン装着時。

ネックヒーターを協調制御。ルーフオープン/クローズ時でそれぞれ異なる制御を実現し、オープン時は車速とも連動します。さらにネックヒーターには、温風の吹き出し口に可動フィンを設定し、きめ細やかな調整が行えるよう配慮。いかなるときも細やかに、そしてさりげなく、最適な体感温度で乗員を包みます。



ボディ骨格設計とともに開発したオーディオサウンド

鋭く優雅な走りの個性と、それに適った、すつきとしたナチュラルサウンド。走りと音楽の高次元なハーモニズムをめざして、車両とオーディオシステムの開発を一体となって進めました。クーペ開発時、音響空間となるボディは骨格の設計から検討。なかでも、ウーファーを内蔵するドアパネルは、共振特性を解析し、チューニングを繰り返すことで振動を抑制。密閉度も向上させ、スピーカーボックスとしての低音域再生能力を高めました。これによって、音源の録音現場の床や壁の共振、空気の揺らぎといった低音域の微小信号を忠実に再生し、余韻の広がりや豊かな響きを持つ音場を実現しています。オーディオシステムは、補正をかけない素の状態でのサウンド品質を高めるため、スピーカー、アンプの基本性能の向上に加えて、その搭載位置も緻密に検証しています。例えば、インストルメントパネルに設置

したスピーカーは、位置・角度・開口率をミリ単位で調整。直接音とフロントガラスの反射音が効率良く乗員に届き、広がりと奥行きのある立体的な音場を実現しています。ミッドレンジスピーカーでは、ツイーターとウーファーそれぞれの帯域の一部へも再生域を拡大し、ボーカル帯域をカバー。音像定位を上げて目の前にステージが広がっているかのような臨場感を再現します。また、LC500 Convertible開発時もクーペ同様の思想に基づき設計。ルーフオープン時でも自然な包まれ感を演出するリヤシート埋め込みスピーカーや、ルーフオープン/クローズ時それぞれの状態に適した制御を採用し、走行シーンに合わせた楽しみ方を提供します。

ドライビングのひととき、流れてくる景色に音楽が乗って、自然にすっと心に入ってくるサウンドの心地良さを堪能できます。



※写真はクーペ。



DESIGN

レクサスの「挑戦するデザイン」は、
デザインフィロソフィー、L-finesse(エル・フィネス)*と、
既成概念を超越する勇気、
挑戦的な意思決断から生まれます。
同時にそこには、相反する要素を
妥協することなく調和させ、新しい価値を生み出すという
日本の伝統的な美意識も息づいています。

エレガンスと機能の両立による 唯一無二のデザイン

LCシリーズのルーツであるコンセプトカー
「LF-LC」のデザインをそれぞれに昇華させた
クーペとコンバーチブル。
エモーショナルなブランドを象徴するデザインです。





EXTERIOR FUNCTION

造形美と先進テクノロジーの融合



精緻なグラデーションを表現した スピンドルグリル

ラグジュアリスな表情を湛えたスピンドルグリルには、ロアからアッパーへ、メッシュの密度が高まるグラデーションを取り入れました。精緻に造り込んだブロックを幾何学的に配置し、形状と大きさを少しづつ変化させることで、緻密さと華やかさを表現しています。また、グリルのロアエリアは密度を広げることで空気を効率良く取り込み、ラジエーターの冷却風量を確保。精緻なデザインの中に、スポーツ走行に求められる冷却機能を融合しています。



先進性を印象づける 超小型の三眼フルLEDヘッドライト

低く迫力あるシルエットの実現に、技術的な侧面から寄与する三眼フルLEDヘッドライト。一灯あたり直径30mmの超小型レンズを開発し、ホイールアーチの近くに配置することでフロントフェンダーを薄型化しました。同時に車両前端部の重量を低減し、すぐれた回頭性にも寄与しています。レンズの超小型化はデザインの自由度を広げる効果も生み出し、三眼レンズが作り出す造形の精緻さにより、レクサスらしい先進性を表現しています。



合わせ鏡の原理を応用した フルLEDリヤコンビネーションランプ

点灯時にL字型の照明が幾層も重なり、奥行き感のある光を演出するテールランプ。2枚の鏡を向かい合わせた合わせ鏡の原理で光を反射させる、ハーフミラー構造のインナーレンズを応用了した技術です。インナーレンズのミラーに入る光の一部を透過し、一部を反射させることで多層の光を映し出し、レクサスのL字モチーフを鮮やかに印象づけます。



ROOF SYSTEM

LCの新たな扉を開く、全自動式ソフトトップルーフ



デザインも動きも美しく設計した 全自動式ソフトトップルーフ

コンバーチブル最大の特徴となるルーフには、クルマ全体の印象を軽快に見せるソフトトップを採用。ファブリック内側のフレーム形状が表面に出ないよう、ソフトトップの素材を吟味してシワの寄らない最適な張り具合を検証し、クーペのような美しいルーフラインを描くように綿密に造り込みました。さらに、ルーフ格納スペースを覆うトノカバーが、ルーフオープン時のリヤまわりのすっきりとした見映えを実現しています。また機能面では、開閉時間約15秒というスムーズかつスピーディな動作を追求しました。動き始めから動き終わりまでが滑らかにつながった自然な動きを狙うとともに、ルーフを動かす油圧ポンプユニットは二重構造で遮音され、静謐性に配慮。ルーフにおいても「より鋭く、より優雅」なLCらしい動きを体現しています。

Convertible

※ルーフは、約50 km/h以下であれば、走行中に開閉できます。安全を考慮し、開閉動作を行ってください。
※全自動式ソフトトップルーフは油圧式のため、連続して開閉動作を行うと熱を発し、システム保護のため一時的に作動しなくなる場合があります。

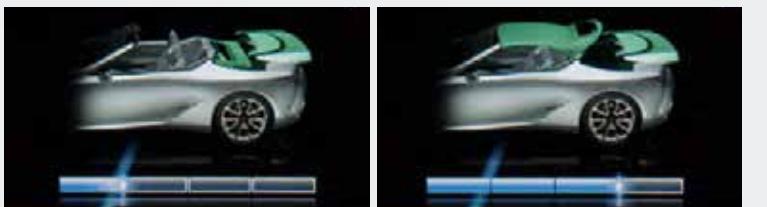


ルーフの開閉
動画はごちら

ルーフの作動状況をひと目で確認できる カラーマルチインフォメーションディスプレイ表示機能

ルーフの開閉状態を視覚的に伝えるグラフィックと、進捗に応じてバーグラフが進む表示をカラーマルチインフォメーションディスプレイに設定。開閉の進み具合を視覚的に確認できます。

Convertible



直感的な開閉が可能 ルーフスイッチ & 全窓操作スイッチ

ソフトトップルーフの開閉操作を行うルーフスイッチをパームレスト内に設定。ルーフ開閉方向とルーフスイッチの操作方向を合わせたことで、ルーフを後方へ開くときはスイッチも後方へ、ルーフを前方へ閉じる時はスイッチも前方へ動かすといった直感的な開閉操作が可能です。ルーフ開閉操作中にスイッチを押し続けることを考慮し、滑り止めのセレーション加工も施しています。また、フロントウインドウとクオーター・ウインドウを同時に開閉できる全窓操作スイッチもルーフスイッチの隣に設定しています。

Convertible

※クオーター・ウインドウの操作は全窓操作スイッチでのみ可能です。



= 標準装備

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表をご確認ください。





INTERIOR CRAFTSMANSHIP

職人の技により造り込まれた贅沢な空間



熟練の技が凝縮された シフトノブ

TAKUMIドライバーがデザイン開発に加わり、手のひらのフィット感、運転中の操作性まで追求した造形とし、熟練した職人だけが成し得る繊細かつ緻密な技で仕上げました。視覚から触覚から、質感を感じていただけるシフトノブです。また、エレクトロシフトマチックを採用し、ショートストロークのシフトレバーを開発。確かな操作感を味わうことができます。

精緻に刻み込まれた L字レリーフ

レクサスのイニシャルをかたどったL字パターン。精緻なレリーフ技術を駆使して、ステアリングホイール、ドライブモードセレクトスイッチ、オーディオ・エアコンレジスターのダイヤルなどの各所に施しています。

細部まで美しく仕上げた 表皮巻き

本革やアルカンターラ®等の表皮で室内の細部まで巻き込んだインテリア。金属素材とのコントラストが際立ち、深みのあるエレガンスを醸し出します。表皮巻きやステッチはすべて職人の手作業により行われ、端末の処理も美しく仕上げられています。室内を覆う表皮は、部位ごとに最適なテンションで張り込む細心の手作業によって、革独自の風合いを均一に整えています。

繊細な光で優雅さを演出する アンビエントイルミネーション

ドアトリムを彩る、ドレープ形状のオーナメント。夜間には、トリム上端のメッキモールに沿って光るアンビエントイルミネーションがドレープに陰影を生み出し、昼間の表情とは異なる、エレガントな雰囲気を醸し出します。アンビエントイルミネーションの繊細な光は、細いメッキモール裏側に設置可能な細径の光源ユニットにより実現しました。

LC FACTORY

元町工場 LC 専用ファイナルアッセンブリライン



選ばれた TAKUMI の手作業による 高いクラフトマンシップ

LCの生産拠点として元町工場に設立されたLC専用生産ラインは、レクサス技能認定を受けたTAKUMIの熟練技術と、LCの生産に最適な先進の生産設備との調和を実現しています。

床面から天井まで純白なこのラインは、清掃・整理が行き届いていることが確認しやすく、空調の音まで抑えられた、作業に集中しやすい環境に整えられ、その中でTAKUMIたちが五感を研ぎ澄ませながら、じっくりと時間をかけてパワートレーン、サスペンション、電装部品、内装・外装部品を組み立てています。その作業時間は従来の組立ラインの数倍になり、TAKUMIには工程に対するより深い知識と技能が求められるため、LCのラインには「匠の技能を有した技能員」だけが立つことが許されます。さらに自らの技能に加え、タブレット端末を操ることで、主要なボルトの締め付けトルクなど、作業項目の実施確認がすべてタブレット端末を介して厳守されています。



オーナー様にお届けするのは
LEXUS LCという名の「作品」

ラインの最後には、ガラス張りの艤装検査ブースを設置しました。ここでは、床下にまで配置したLED照明により、LCのボディ曲面にわずかなひずみもないか検査を行います。また、ごく小さな異常音の検出も可能のように、厚板ガラスで囲われた静かな環境で、ドアやウインドウ開閉などの機能部品の作動品質を確認します。このようにして、厳格なレクサス基準に則ったLC品質を保証しています。

TAKUMIの技と情熱、データを駆使したモノづくり、厳しい検査が一体となって組み上げられたパーツは単なる構成部品ではなく、例えばドア一枚をとつてみても、それ自体がひとつの「作品」となります。それら一つひとつが重なり合い、完成車となる瞬間、LEXUS LCという作品に命が吹き込まれていきます。

ここはまさに、「LCの聖地」なのです。





DRIVING PERFORMANCE

無駄や遅れのない
スムーズでエレガントなレスポンス。
同時に感じさせる、
体幹の強さ、懐の深さ。
すっきりと奥深いパフォーマンスは、
アドレナリンが湧き出るような体験をもたらし、
レクサスの独自性を印象づけます。

クルマとの対話をより楽しめる走りへ

体幹をさらに鍛え、テストコース「Shimoyama」を走り込むことで
「より鋭く、より優雅に」を磨き上げたLC。
あらゆるシーンにおいて自然体で、気持ち良いドライビングを可能にし
クルマとの深い一体感をもたらします。

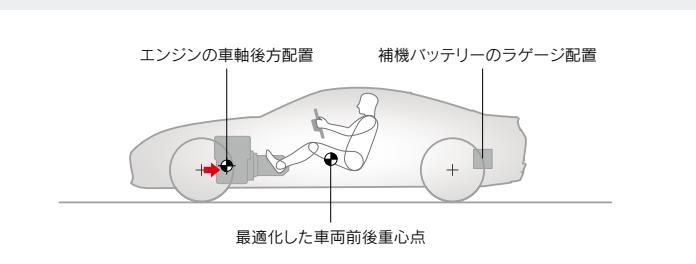
PACKAGING

走りの基本に立ち返り、追求した慣性諸元



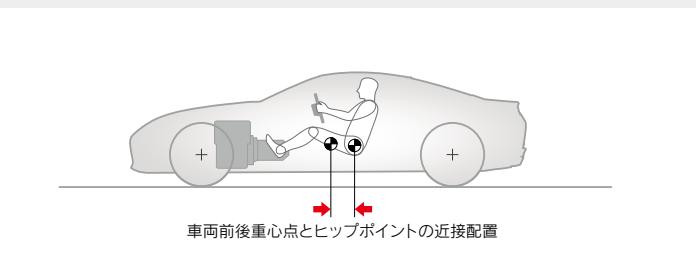
FRらしい走りを創出する フロントミッドシップレイアウト

「鋭く優雅」な走りの実現のためにFRプラットフォームを開発し、慣性諸元を突き詰めました。慣性諸元とは、重量物の配置により決まる重量配分や慣性モーメントのことで、車両の運動性能を向上させる重要なファクター。LCはその基本となるパッケージにフロントミッドシップレイアウトを採用し、タイヤの四隅配置、前後ショートオーバーハング、補機バッテリーのラゲージルーム配置など、重量配分と慣性モーメントを最適化しました。旋回時や減速・加速時において、自然で滑らかな車両挙動を実現しています。



クルマとの一体感を生み出す ドライビングポジション

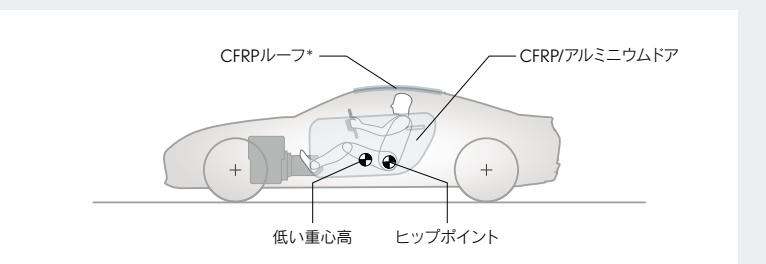
ドライビングポジションは、低配置化に加えて、車両の前後重心点とドライバーのヒップポイントの距離を近づけた「近接配置」としました。ドライバーとクルマの旋回中心がほぼ一致することで、クルマとの一体感を味わうことができます。このように慣性諸元を徹底して突き詰めたパッケージにより、減速・旋回・加速といったコーナーを走り抜けていく一連の動きにおいて、操作に対する応答性の良さと、スムーズで穏やかな姿勢変化を実現。ドライバーとクルマが一体となり、リズミカルなドライビングを楽しむことができます。



すぐれた操縦安定性を生み出す 低い重心高

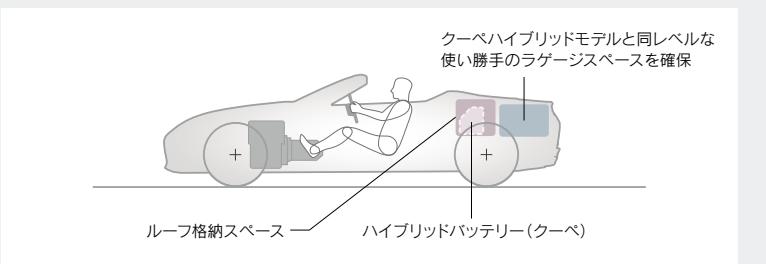
クルマは重心が低いほど旋回時に発生するロールが小さくなり、姿勢変化に無駄のないスマートなコーナリングが可能になります。LCは低重心化を図り、フロントミッドシップレイアウトの採用に加えて、エンジンユニットの低配置によりフロントフード、カウル、ルーフそれぞれの高さを低減して車両全高をローダウン。さらに、アッパーボディに軽量化素材のCFRPやアルミニウムを使用したほか、ドライバーのヒップポイントを車両重心高よりも低い位置に設定。低重心パッケージを徹底して追求し、すぐれた操縦安定性を生み出しています。

*CFRPルーフはLC500h "S package" /LC500h、LC500 "S package" /LC500に標準装備。



シルエットもラゲージの使い勝手もキープした コンバーチブル専用パッケージ

クーペに対してリヤヒップポイントを前出しするとともに、ハイブリッドモデルでバッテリーを搭載しているエリアにソフトトップルーフを格納することで、クーペハイブリッドモデルと同レベルな使い勝手のラゲージスペースを確保。サイドシルエットの美しさとラゲージスペースの確保を両立させています。



MULTI MATERIAL BODY

リニアなステアリング特性を実現する高剛性・軽量ボディ



※画像はイメージです。

スムーズなねじりを追求した 高剛性ボディ

世界トップレベル^{*1}の高剛性を実現しながら、旋回時に車体がスムーズにねじれる特性を備えたボディを開発し、操舵時の軽快なボディ追従性、質感の高い乗り心地を実現したクーペ。コーナリングにおいて、ドライバーのステアリング操作にクルマが素直に応える走りを生み出すためには、4輪の接地感がステアリングにしっかりと伝わることが重要です。そのために、ねじりを加えたフレームの変曲点を最小化し、フレーム全体のねじり特性を均一化。連続するコーナーで4輪がつねに路面をグリップすることに貢献します。このリニアなねじり特性により、ドライバーは車両挙動を予測しやすくなり、ワインディングやサークルにおいて、先を読みながらアクセルを踏み込むことが可能となります。アクセルワークでクルマをコントロールするFRならではの走りを一層楽しむことができます。また、ガソリン車にはフロントとリヤに床下プレースを採用。より高いボディ剛性を実現することで、すぐれた操縦

安定性、素直な車両応答性を確保します。ドライバーとクルマの一体感を高め、LCが掲げる「より鋭く、より優雅」な走りのさらなる進化に寄与しています。

*1. 2017年3月時点。トヨタ自動車(株)調べ。



クーペをベースに磨き上げた コンバーチブル専用高剛性・軽量ボディ

コンバーチブルにおいても、クーペをベースに高剛性かつ軽量な専用ボディを開発しました。剛性に関しては、まずコンバーチブル特有のボディのねじれに対する変形を解析。それをもとに、ボディ接着剤の延長、スポット溶接打点増加をはじめ、ガセットやトーションボックス、リヤサスペンションタワーブレース、フロントとリヤに加えセンターにも採用した床下プレースといった局部変形に対する最適なアイテムを追加することで、変形に偏りのないしなやかなボディを実現。すぐれた操縦安定性と素直な車両応答性を確保しました。

またクーペ同様、素材のマルチマテリアル化によってボディを軽量化。特にルーフにおいては、

軽さを持ち味とするソフトトップの採用と、マグネシウムやアルミニウムといった軽量金属を使用した構造部材によって軽量化を実現。さらにルーフ格納部を覆うトノカバーにもアルミニウムを採用するなど、コンバーチブル専用の部品にも積極的に軽量素材を使っています。



CFRP・アルミニウム・スチールを
適材適所に組み合わせた
軽量ボディ

クーペのボディは、高剛性化のみならず、素材のマルチマテリアル化により軽量化も両立しました。アンダーボディなど変形に対する強度が求められる骨格にはスチールを使い、高剛性化。車両重心点から遠いルーフにはCFRP^{*1}、ドアにCFRPとアルミニウムを使用して軽量化を図り、慣性諸元を向上しています。その中でサイドドアは、インナーパネルにCFRP(C-SMC)、アウターパネルにアルミニウムを使用した世界初^{*2}の構造。レクサスが培ったCFRPテクノロジーを継承し、成形のしやすさを特性に持つC-SMCを採用することで、複雑形状のドアパネルへの展開を実現しました。またフロントサスペンションタワーにはアルミダイキャストを採用し、スチール素材に対して大幅な軽量化と剛性向上を両立しています。ステアリングサポートの材質に高剛性のアルミダイキャストを採用することで、すぐれた操縦安定性を確保しました。

*1. LC500h "S package" / LC500h, LC500 "S package" / LC500に標準装備。
*2. 2017年3月時点。トヨタ自動車(株)調べ。



AERODYNAMIC BODY

ボディの細部にまで織り込まれた空力性能



風の流れを走行安定性に活かす ボディ形状

LCのダイナミックなプロポーションは、風の流れを利用して車両前後の揚力バランスを整える空力性能を追求しています。低く構えたフロントノーズからフロントピラーへ滑らかにつながる独自の造形により、空気を剥離させることなくスムーズに後方へ誘導。車体下を流れる風は、ダウンフォースを生み出すspoイラー形状により揚力を抑え、さらに、広範囲にわたりフラット化したアンダーカバー下を通り、緩やかに切り上がったバンパー後方へスムーズに導出されます。このように風の流れをコントロールすることで、空気抵抗を低減しつつ、最適なダウンフォースを得て、すぐれた走行安定性を確保しています。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

操縦安定性を確保する エアロスタビライジングフィン

デザインや空気抵抗に影響を与えることなく、操縦安定性を確保するため、ドアガラス前方にエアロスタビライzingフィンを採用しました。小さなフィンが作り出す空気の渦がボディ側面の空気の剥離を抑え、空気抵抗の低減とすぐれた車両安定性の確保を両立します。



エレガントなデザインと融合した 空力機能

高速走行時に気流が乱れやすいタイヤ周辺の空力処理を、デザインと一緒に融合した機能美として織り込みました。ワイドスタンスを強調する縦基調のターンランプデザインと融合したサイドグリルが前面からの風をフロントホイールアーチへスムーズに流し、また、アグレッシブに張り出したリヤフェンダーに設置したロッカーサイドグリルによって、側面からの風をリヤホイールアーチへ抜ける導線で整流。この前後のサイドグリルにより、空気抵抗の低減とホイールハウス内に発生する揚力を抑制して、高速走行を安定化させます。



高速時の走行を安定させる アクティブリヤウイング(格納式)

高速走行時のダウンフォースを高め、車両挙動を安定化。時速約80km/hでアップし、約40km/hで自動格納。マニュアル操作によるアップ・ダウンも可能です。



WIND CONTROL

快適にコントロールされた風の流れと空調



ルーフオープン時に顔まわりの風を抑える ウインドディフレクター / ウィンドスクリーン

季節を問わず快適なオープン走行を楽しめるように、ルーフオープン時の風流れを徹底的に研究。車内への巻き込み風をコントロールし、快適性を確保するためのアイテムを設定しました。

■ウインドディフレクター

主に60km/hまでの街乗りシーンで快適性に貢献。車内への巻き込み風を後席の下方向へコントロールし、乗員の顔まわりに来る風を約20%低減(60km/h走行時)します。

Convertible



■ウィンドスクリーン

主に高速走行シーンで快適性に貢献。車内への巻き込み風を抑制し、乗員の顔まわりに来る風を約70%低減(100km/h走行時)します。また、後方視認性や風切音にも配慮したメッシュパターンを採用しています。

Convertible

※ウインドスクリーン装着時は2名乗車となります。
※フロントシートを後方に倒しても干渉しない位置に設置しています。
※ウインドスクリーンを装着したままでもルーフは開閉可能です。



先進の空調システムでもてなす レクサス クライメイト コンシェルジュ

オートエアコンと連動して、シートヒーター、シートベンチレーション、ステアリングヒーター、そしてLC500 Convertibleではネックヒーター*も合わせて緻密に自動制御し、一人ひとりに最適な心地良さを提供します。また、シートの暖めすぎや冷やしそぎといった過度の動きを抑え、快適さを維持しながら省燃費を実現。あらかじめ好みの状態に設定しておくことで、一切の操作を行ふことなく、つねに快適な状態を保ちます。

また、LC500 Convertibleには、ルーフの開閉に応じた空調制御*を採用。ルーフの開閉を判定し、状態に応じてエアコン制御を自動的に切り替え。日射、外気温、車速等に応じて冷房・暖房の強さや風量を自動調整します。

また、寒い時期に便利な「シートヒーター/ステアリングヒーター画面呼び出しスイッチ」をセンターコンソールに設定。スイッチ操作で12.3インチタッチディスプレイに操作画面が瞬時に表示され、すぐに使いたいシートヒーターやステアリングヒーターの設定をただちに行えます。

*「ネックヒーター」「ルーフの開閉に応じた空調制御」はLC500 Convertibleに標準装備。なお、レクサス クライメイト コンシェルジュは全車標準装備となります。



COCKPIT

ドライバーとクルマを一体化する高機能コックピット



手にフィットし、正確な操作を可能にする ステアリングホイール

ドライバーの意志をクルマに伝えるステアリングホイールは、人の感性を重視し、走行性能開発を担当するTAKUMIドライバーが走り込みを重ねて開発しました。操舵角が掴みやすいステアリング傾角、握る位置に合わせて最適化したグリップ形状を造り込み、手のひらのフィット感にも着目。握る際にできる手のひらの窪みとホイール形状がフィットする、心地良いグリップ感を感じいただけます。

また、マグネシウム素材を採用したパドルシフトは、ステアリングを握る手を持ち替えることなくシフトチェンジが可能な形状に設計しています。



情報を洗練されたスタイルで提供する TFT液晶式メーター

分かりやすさと美しさを兼ね備えたモーショングラフィックスによる、先進のインターフェース。情報の優先度に沿って、限られた表示エリア内で重要な情報を瞬時に認識できる多様な機能を搭載しています。例えば、パドルシフト操作時のシフトポジション拡大表示機能、選択したドライブモードごとにメーター表示を切り替える機能、メーターリングが瞬時にスライドして詳細な情報を表示するカラーマルチインフォメーションディスプレイ。その時々に応じた必要な情報を最適なデザインで提供します。

また LC500 Convertibleでは、光の反射を抑えるARコートを液晶に追加。ルーフオープン時にもすぐれた視認性を確保しています。



ドライビングを支える性能を追求した フロントシート

ドライバーのパフォーマンスを引き出すためにシートに求めた性能。それは、高い旋回Gに耐えるシート剛性、リラックスした状態でドライビングポジションがぴたりと決まる、すぐれたホールド性と快適な座り心地です。その実現のために、骨盤がしつくりと収まり、着座圧力を最適に分散した凹形状のシートクッションを開発しました。

アルカンターラ®/セミアニリン本革スポーツシート¹は、ホールド性を高めた専用サイドサポート、および表皮一体発泡工法によるすぐれたフィット感のクッションによって、サーキット走行の高Gコーナリングでより安定した運転姿勢を確保します。またセミアニリン本革シート²は、サイドパーツにメインパーツを被せたレイヤー構造を採用し、先進的な造形美を表現しています。さらにLC500 Convertible専用のセミアニリン本革シート³には、着座時に体が沈み込むたわみ代を拡大することでクッション性に余裕を持たせた深吊り構造を採用。路面から伝わる振動を軽減し、快適な乗心地を実現しています。

*1. LC500h "S package" / LC500h, LC500 "S package" / LC500に標準装備。インテリアカラーのブルー＆ホワイトを選択した場合、セミアニリン本革スポーツシートとなります。

*2. LC500h "L package", LC500 "L package" に標準装備。

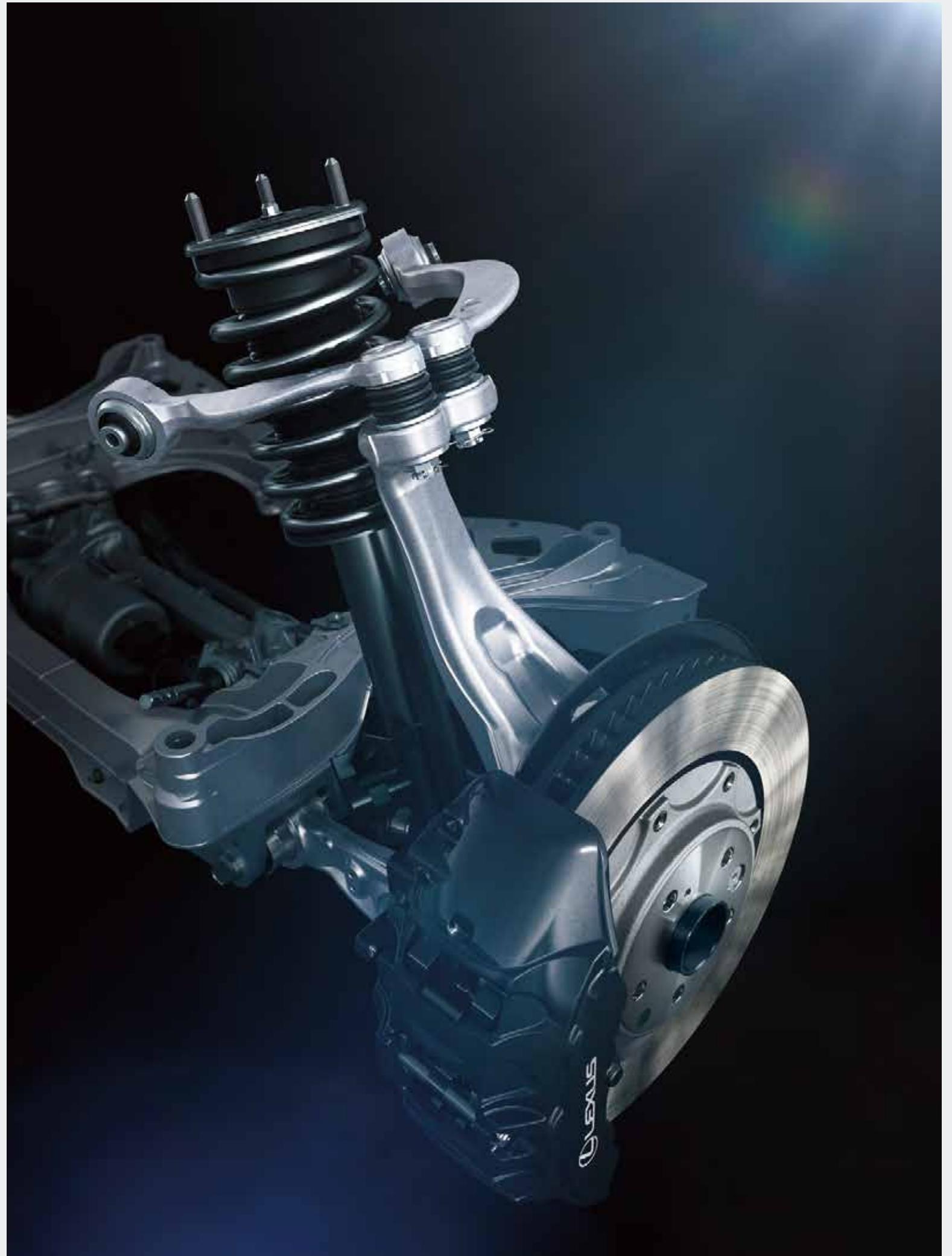
*3. LC500 Convertibleに標準装備。



※写真はLC500 Convertible。

CHASSIS

鋭く優雅な走りを生み出すシャシー性能



操舵フィールと乗り心地に貢献する ハブボルト締結構造

ハブペアリングとホイールの締結にハブボルトを採用しました。高剛性化により、すっきりとした手応えのある操舵フィールと質感の高い乗り心地に貢献します。



リニアなステアリングフィールを追求した マルチリンクサスペンション

ドライバーの操作や路面からの入力に対し、より微細に動きを制御できるフロントダブルボールジョイント式マルチリンクサスペンションを採用。各アームの配置を最適化することで、ステアリングの切り始めから手応えのある、リニアなステアリングフィールを実現しました。また、旋回時の横力に対する高い剛性を確保し、微小な操舵入力からすぐれた応答性を発揮します。リヤサスペンションは、アームの最適配置とフリクションの低減により、高いスタビリティと上質な乗り心地を生み出します。

アブソーバーでは、減衰力特性の幅を拡大し、かつ応答性を上げることで、快適な乗り心地と高い操縦安定性をもたらします。

また、フロント・リヤともに各部品の材質や構造などを徹底して検証。バネ下重量を軽くすることで、しなやかなサスペンションの動きを実現し、タイヤの接地感を向上させています。加えて、クーペとコンバーチブルそれぞれの走りの味の深化をめざし、ばね定数などを最適化。クーペはよりリニアで滑らかな車両挙動と高い回頭性・安定性を、コンバーチブルでは優雅さと高い回頭性の両立を図りました。



状況に合わせた走りを選択できる スポーツモード付VDIM/ドライブモードセレクト

ドライブモードセレクトのモードに連動して、通常走行でスムーズな走りと高い予防安全性を確保するNormalモードと、サーキット走行に最適なVSC/TRC制御を行うSportモードを設定。一般道でもサーキットでも、状況に合わせた走りを安心して楽しむことができます。さらに、サーキット走行でのスキルアップなど、走ることの楽しさをより追求したEXPERTモードを設定。基本的にVDIM制御OFF状態としながら、万一の際には車両挙動の乱れを緩和する制御が働きます。

■ Sport S+ サーキットなどスポーツ走行に対応するモード
サーキット走行などにおけるアグレッシブな運転操作に合わせ、ステアリングフィールをよりスポーティに切り替え、アクセルレスポンスや加速性能を最大化するギヤ段をつねに選択。

■ EXPERT 走る楽しさを追求したモード[Sport S+モードで、VSC OFFスイッチ短押し時]
Sport S+モード選択時に設定。自らの運転テクニックでサーキット走行を安心して楽しめるよう、ドライバーによる車両コントロール領域を最大限に残しつつ、車両挙動が大きく乱された場合には乱れを緩和させる制御が介入します。
※LC500 "L package"、LC500でトルセン®LSDをオプション装着した場合に選択できるモードとなります。

■ Sport S アクティブな走行や、高速走行に適したモード
アップダウンやコーナー、高速道路など応答性・パワーを必要とするシーンで高回転のギヤ段を選択し、アクセルレスポンスや加速性能を向上。

■ Normal 市街地走行に適したモード
燃費と走行性能のバランスを確保しつつ、ワインディングロードなどでは最適なギヤ段選択により楽しい走りを提供。

■ Comfort 乗り心地を優先したモード
ゆったり走りたい時などに適した、しなやかな乗り心地を確保。

■ Eco 環境に配慮したモード
穏やかなスロットル特性でドライバーの軽いアクセル操作をアシスト。エアコンの稼働も制御し、燃費の向上に貢献。

■ Custom 嗜好に合わせて設定できるモード
パワートレーン、シャシー、エアコンの各モードの組み合わせを自由に選択可能。

意図通りの制動力を追求 ブレーキシステム

フロント対向6ポッドアルミモノブロックキャリパー、リヤ対向4ポッドアルミモノブロックキャリパーに高摩擦ブレーキパッド*を組み合わせ、高い剛性と耐フェード性能を確保しました。さらに、マスターシリンダーサイズやペダルの配置・踏面形状などの最適化により、高い応答性とコントロールのしやすさを実現しています。ワインディング走行などにおいても安定した効きが得られ、ドライバーの意図する制動力を正確に発揮し、意図通りの速度調整に貢献します。ブレーキを踏み込んでいった際には効き込み感も得られるため、ドライバーに絶大な安心感を提供します。さらに、コーナー進入時や停止間際のブレーキ抜き操作において足裏に吸い付くようなペダルフィールが得られることで、より細やかなGコントロールが可能です。また、フロントには大径2ピースディスクローターを採用し、バネ下重量の低減に寄与しながら、熱変形を抑えて安定した効きを確保しています。

*高摩擦ブレーキパッドはLC500 "S package" / LC500 "S package"に標準装備。LC500 / LC500 "L package"にメーカーオプション。トルセン®LSDが同時装着となります。

※ブレーキパッドについては、車速、制動力や車両を取り巻く環境(気温、湿度等)によってはブレーキノイズが発生することがあります。

CORNERING DYNAMICS

卓越した高速コーナリング性能のためのテクノロジー



走りの楽しさを高める車両統合制御

LDH(レクサス・ダイナミック・ハンドリングシステム)

LDHは、安全とクルマを操る楽しさを両立するために車両を統合制御するVDIMコンセプトのもと、ギヤ比可変ステアリング[VGRS]、電動パワーステアリング[EPS]、後輪の切れ角を制御するDRSを統合制御するシステムです。ドライバーの操作に対し理想的な車両挙動を実現すべく、車速やステアリング操作などに基づき4輪のタイヤ切れ角を最適に制御。高速走行時の高い車両安定性、山岳路など中速走行時での軽快なステアリングレスポンスを実現します。

LCのLDHは、トルセン®LSDを組み合わせ、旋回中の加速性能を向上。さらに、ブレーキ制御と協調したアクティブステアリング制御により、ドライバーが制御されていることを感じることなく、すぐれた旋回加速性、ライントレース性、車両コントロール性を確保します。

限界領域まで思いのままの走りを実現し、クルマを操る楽しさと安定した車両挙動を高次元で両立します。

"S package"

※LDH(レクサス・ダイナミック・ハンドリングシステム)装着車は、ドライブモードセレクトのEXPERTモードは選択できません。

■ LDH



一般的に車速が増すと車両は内側を向く傾向がありますが、LDH装着車は車両の向きを進行方向に近くすることで、高速旋回時での思い通りの車両応答性に貢献。

■ アクティブステアリング制御



アクティブステアリング制御を付加することで、旋回方向のモーメントを増加。さらにEPSによって前輪の切り戻し方向に操舵トルクをアシストし、過度な切り込み操舵を抑制。

ワインディング走行などでドライバーを支援する

アクティブコーナリングアシスト[ACA]

ワインディング走行等のシチュエーションで、思い描いたラインを走行できるようにサポートします。コーナリング中、アクセルを踏み込んだときに発生しやすい車両のアンダーステアを抑制し、すぐれた旋回性能を確保。高い車両安定性を実現します。

LC500h "L package" | LC500 "L package" * | LC500h | LC500 * | Convertible *

* トルセン®LSDを選択した場合、アクティブコーナリングアシスト[ACA]は装着されません。

コーナリング時の加速に貢献する

トルセン®LSD

駆動輪であるリヤタイヤのトラクション性能を確保し、コーナーの立ち上がりなどでよりダイナミックな加速を発揮。減速時にもスムーズで安定感のある挙動を確保します。

"S package" | LC500 "L package" *1*2*3 | LC500 *1*2*3 | Convertible *

*1. トルセン®LSDを選択した場合、アクティブコーナリングアシスト[ACA]は装着されません。

*2. トルセン®LSDとフロント・リヤブレーキ(高摩擦ブレーキパッド付)は同時装着となります。

*3. トルセン®LSDを選択した場合、ドライブモードセレクトにEXPERTモードが選択可能になります。

= 標準装備 = メーカーオプション

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

MULTI STAGE HYBRID

ダイレクトな走りが際立つ、マルチステージハイブリッドシステム



力強い加速と低燃費を両立した

V6 3.5 ℥ エンジン

LC500hには、伸びのある加速フィーリングを磨き上げた自然吸気V6エンジンを搭載しました。動弁系パーツおよびピストンなどの往復運動系パーツの軽量化により、最高出力回転数6,600r.p.m.を達成。さらに、吸排気バルブの開閉タイミングを最適に制御するDual VVT-iや、筒内直噴と吸気ポート噴射の2つのインジェクターを持ち、高い燃焼効率を可能にするD-4Sを採用。全域にわたり高トルクを発揮し、アグレッシブなスポーツ走行を楽しむことができます。



LC500h

Fuel Consumption

14.4km/ℓ

(WLTC MODE)

10.9km/ℓ (市街地モード)
15.4km/ℓ (郊外モード)
16.0km/ℓ (高速道路モード)

System Power*

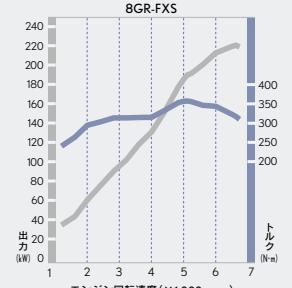
Maximum Power: 264kW (359PS)

V6 3.5 ℥ (8GR-FXS)

Displacement: 3456ℓ
Maximum Power [NET]: 220kW (299PS) / 6,600r.p.m.
Maximum Torque [NET]: 356N·m (36.3kgf·m) / 5,100r.p.m.

Motor (2NM)

Maximum Power: 132kW (180PS)
Maximum Torque: 300N·m (30.6kgf·m)



*エンジンとバッテリーにより、ハイブリッドシステムとして発揮できる出力(社内算定値)。

※燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

※WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

世界初*

マルチステージハイブリッドシステム

V6エンジンと2基のモーターから構成されるレクサス・ハイブリッド・システムに変速機構を直列に配置したマルチステージハイブリッドシステム。ワイドレンジのエンジン使用領域を活かして、発進加速時はもとより、あらゆる車速域からのアクセル操作にもダイレクトかつ応答性の良い駆動力を発揮します。特に低開度から中開度領域では、ドライバーの加速要求をより忠実に実現できるようにモーターからも存分にトルクをアシスト。ひとびアクセルを踏み込めば、ドライバーの意図に即応したダイナミックな加速を生み出します。また高速走行時は、エンジン回転数を低く抑え、低燃費で静かな走りを可能にしました。

*2017年3月時点。トヨタ自動車(株)調べ。

加速にリズムを生み出す

10段変速制御

ワイドレンジで使用できるようになったシステムを10段ギヤ比に従って、車速に対しリニアに上昇する制御を採用。10速ATと同様の走行フィーリングを実現しました。適切なタイミングで変速することにより、走りにリズムを生み出します。

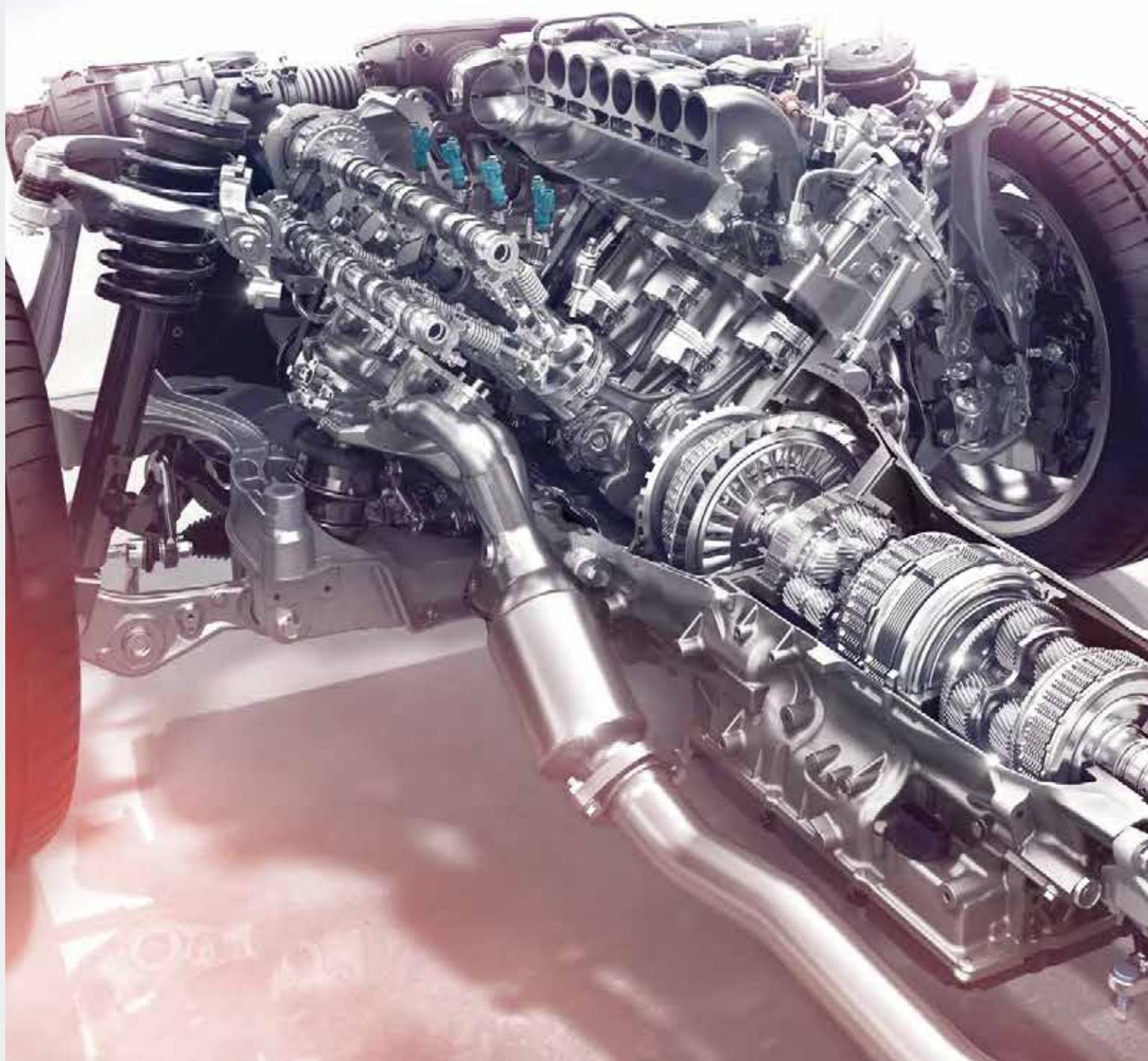
アグレッシブな走りを引き出す

DMI制御

DMI制御はドライバーの運転意図を読み取り、最適なギヤ段を選択する先進のシフト制御です。ワインディング走行では、ギヤ段をロー側へ変速、あるいはブレーキング時に最大2速まで積極的にダウンシフト。コーナーの立ち上がりで、より鋭くスムーズな加速を実現します。また、アグレッシブなスポーツ走行では、バッテリーからの出力アシストを行い、トルク感溢れる走りを引き出します。

V8 ENGINE & 10AT

走りのリズムを創る10速ATと官能のエンジンサウンド



伸び感とレスポンスが際立つ

V8 5.0ℓ エンジン

どこまでも加速していくような気持ちの良い伸び感。自然吸気ならではのレスポンス。LC500に搭載したエンジンユニットは、チタン製吸排気バルブや鍛造クラシクシャフトなどの軽量化により、トップエンドまで気持ち良く伸び続けるトルク感とレスポンスを際立たせました。特に日常生活時の走行シーンにおいて、LCの走りのポテンシャルを体感できるようチューニングしています。また、吸気系のデュアルインテーク化による吸気圧損の低減と、排気切替バルブによる背圧の低減により、エンジン性能を向上しています。



LC500

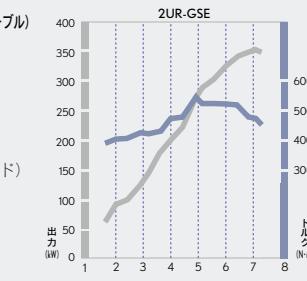
Fuel Consumption (クーペ)
8.4 km/ℓ
(WLTC MODE)

5.0 km/ℓ (市街地モード)
8.9 km/ℓ (郊外モード)
11.2 km/ℓ (高速道路モード)

V8 5.0 ℓ (2UR-GSE)
Displacement: 4968cc
Maximum Power [NET]: 351kW (477PS) / 7,100r.p.m.
Maximum Torque [NET]: 540N·m (55.1kgf·m) / 4,800r.p.m.

Fuel Consumption (コンバーチブル)
8.0 km/ℓ
(WLTC MODE)

4.7 km/ℓ (市街地モード)
8.4 km/ℓ (郊外モード)
10.9 km/ℓ (高速道路モード)



※燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

※WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路での走行を想定しています。

切れの良い変速で走りのリズムを生み出す

Direct Shift-10AT

アクセル操作に即応するダイレクト感とスムーズな発進を両立するトルクコンバーター式ATを採用。発進時を除くほぼ全域でロックアップを作動させ、MT車のようなダイレクトな動力伝達を実現しています。10速化によるクロスステップと世界最速レベル*の変速が作り出す走りのリズムに加えて、ドライバー意図を読み取って最適なギヤ段を選択する変速制御や、アクセル操作に対する応答性をより高めることにより、Dレンジで思いのままの気持ち良い走りを楽しむことができます。

また、10速のハイギヤ化によりエンジン回転数を低く抑え、低燃費で静かな高速クルージングを実現しています。

*2017年3月時点。トヨタ自動車(株)調べ。

走りと同調した響きを奏でる
エンジンサウンド

発進時や低速走行からの加速で、力強い押し出し感を後方から響かせるエキゾーストシステムは、排気バルブの開閉により流路切り替えを行い、排気音色と音圧をコントロール。バルブオープン時は排気をテールパイプへ流し、迫力のサウンドを奏で、バルブクローズ時は排気をマフラーで消音し、こもり音のない静謐性を実現します。加速時のエンジンサウンドは、雑味のある低周波を抑えると同時に、躍動感を感じさせる3つの高周波音のハーモニーを響かせます。これによってエンジン回転数の変化とサウンドが渾然一体となり、走りとシンクロした高揚感溢れるサウンドを提供します。

SAFETY

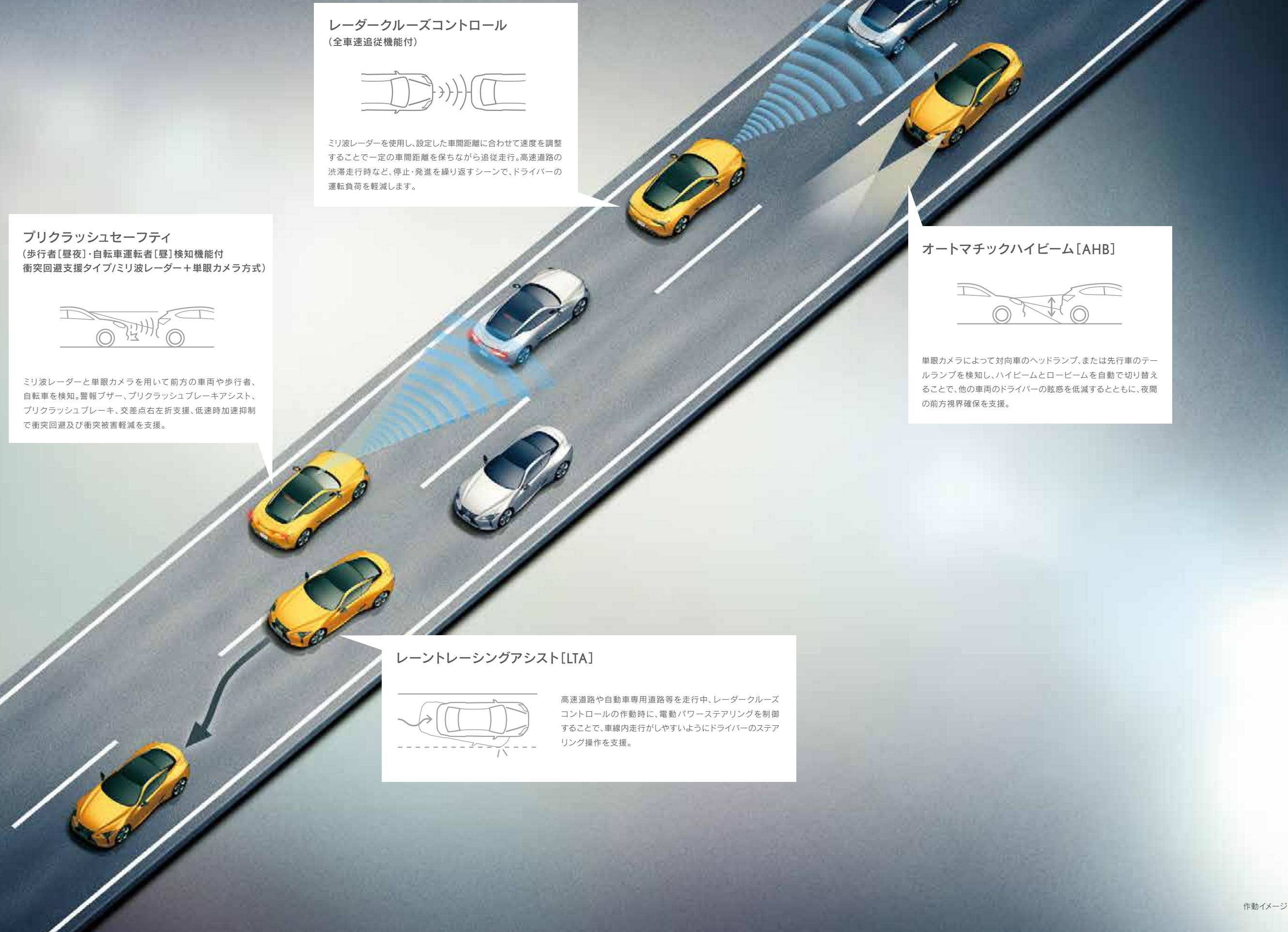
統合安全コンセプト

安全の第一歩となるメンテナンスから、
事故低減に寄与する予防安全、事故が起きた際の被害を軽減する衝突安全、
そして事故後の迅速で的確な救護支援まで。
「統合安全コンセプト」は、レクサスがめざす安全に対する考え方であり、
車両に搭載されるさまざまな安全システムを独立して機能させるのではなく、
連携を図り、高度な安全性を追求していくというものです。
LCはキャビン骨格に高強度の部材を採用するとともに、
衝突エネルギーを効率的に吸収する構造により、すぐれた衝突安全性を実現しました。
また、予防安全パッケージ「Lexus Safety System+」を搭載。
レクサスの複数の予防安全機能を組み合わせ、
多面的な安全運転支援を可能にしています。



Lexus Safety System +

レクサスの予防安全パッケージ



人・クルマ・交通環境の「三位一体の取り組み」とともに、実際の事故から学び、改善を繰り返す「実安全の追求」の推進から生まれた予防安全システムが「Lexus Safety System +」です。

2種類のセンサー(ミリ波レーダーと単眼カメラ)による高い認識性能と信頼性、事故低減効果の高い予防安全装備のパッケージ化、そして、世界トップレベルの歩行者検知機能付衝突回避支援を実現しながら、これまで取り組んできた安全システムの連携を進化させました。

この革新的な予防安全システムにより、レクサスは、皆さんに高い安心感をご提供します。

ADVANCED SAFETY [Lexus Safety System +]

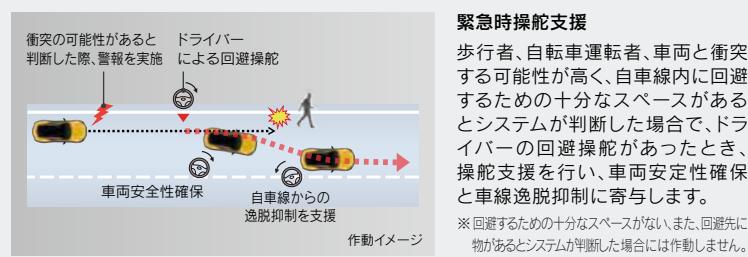
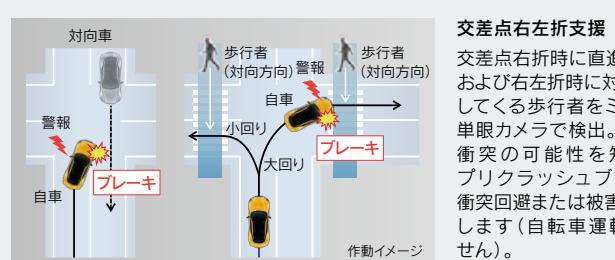
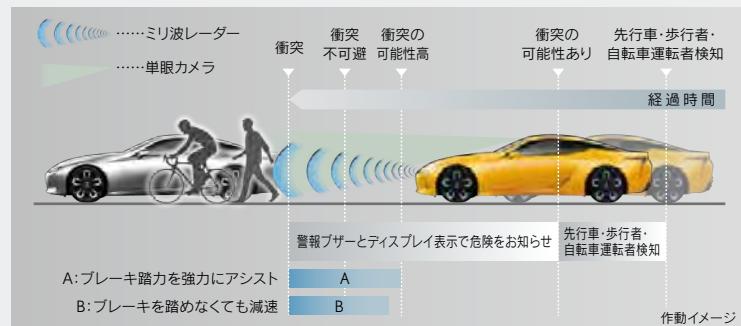
ドライバーに安心感をもたらす、予防安全システムをパッケージ

交差点と緊急時のサポートが進化した

プリクラッシュセーフティ(歩行者[昼夜]・自転車運転者[昼])

検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー+単眼カメラ方式)

前方の車両や歩行者(昼夜)、自転車運転者(昼)をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。警報ブザーとカラーマルチインフォメーションディスプレイ表示で衝突の可能性を知らせ、ブレーキを踏めた場合はプリクラッシュブレーキアシスト。ブレーキを踏めなかった場合はプリクラッシュブレーキを作動させ、衝突回避または被害軽減をサポートします。プリクラッシュブレーキは歩行者や自転車運転者に対しては自車が約10~80km/hの速度域で作動し、たとえば、歩行者との速度差が約40km/hの場合には、衝突回避または被害軽減をサポートします。また、車両に対しては自車が約10km/h以上で作動。たとえば、停止車両に対し自車の速度が約50km/hの場合は、衝突回避または被害軽減をサポートします。なお、対向車に対しては減速して衝突時の速度低減をサポートします。



低速時加速抑制

低速時の自車の直前にいる歩行者、自転車運転者、車両をミリ波レーダーと単眼カメラで認識。前方に対象物がある状態で、停車または徐行状態からアクセルペダルが必要以上に強く踏み込まれた場合には、エンジン出力を抑制または弱いブレーキをかけることで加速を抑制し、衝突回避または被害軽減をサポートします。

*プリクラッシュブレーキはドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があります。道路状況、車両状態、天候状況およびドライバーの操作状態、歩行者や自転車運転者の状態等によっては、作動しない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。数値は社内測定値。

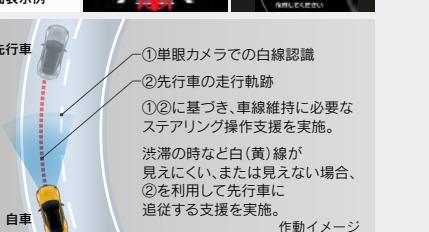
車線をトレースして運転支援する レーントレーシングアシスト[LTA]

高速道路や自動車専用道路を走行中、レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)の作動時に、車線維持に必要なステアリング操作支援を行うことでドライバーの運転負荷を軽減します。また、レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)を使用していない場合でも、車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能は作動可能です。

車線維持支援機能

緩やかなカーブでの支援に加え、滑らかにふらつき少なくレンジ中央をキープする走行が可能です。カメラ認識技術の向上により、レーントレース性能が大幅に向上しました。白(黄)線が検出困難な場合でも先行車に追従する支援を行います。また、曲がりきれず車線を逸脱する可能性がある場合には、表示による注意喚起を行い、ドライバーのステアリング操作を促します。

*状況によっては注意喚起が表示されない場合があります。



*本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

*状況によっては注意喚起が表示されない場合があります。

車線逸脱警報機能/車線逸脱抑制機能

車線から逸脱するおそれがある場合にカラーマルチインフォメーションディスプレイへの表示、および警報ブザーにより警告とともに、車線からの逸脱を避けるためのステアリング操作を支援します。さらに、車線の判断については、白線だけでなくアスファルトと草・土・線石などの境界から逸脱すると判定した場合も支援します。

*安全性の観点から、ドライバーはステアリングを持ち続ける必要があります。手を放すと、車線逸脱抑制機能と車線維持支援機能が停止します。

*レーントレーシングアシスト[LTA]は自動で運転する装置でも前方への注意を軽減する装置でもないため、運転者はねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ステアリング操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。

*車線逸脱警報機能(車線維持支援機能)は約50km/h以上で作動します。

*車線逸脱警報機能(車線維持支援機能)は約50km/h以上で作動します。

*例えば次のような条件下では、車線維持支援機能、車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能が正常に作動しない場合があるため、使用しないでください。●車線と見間違えるような路側構造物がある時(ガードレール、反射ポールなど)●分合流付近を走行中●雨・雪・霧などで車線が見えにくく時など

*例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされず車線維持支援機能、車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能の作動をキャンセルする場合があります。●車線を見失った時●ドライバーの追加運転操作を検知した時(ステアリング、ブレーキ、アクセルの操作など)など

*車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能は走路の境界がはっきり見えない場合、または直線的ではない場合には正常に作動しない場合があります。

*故意に車線から逸脱して走行するなど、システムの作動を確認する行為はたいへん危険です。絶対におやめください。

*車線維持支援機能が先行車に追従する支援を行う場合、先行車が車線を右、または左に片寄って走行、または車線を更に右に片寄る時は、先行車の位置に合わせて自車も片寄って走行し、レーンをはみ出すことがあります。先行車がふらついた時は、自車もふらついて走行し、レーンをはみ出すことがあります。

*カラーヘッドアップディスプレイは全車にメーカーオプション。

車線内の停車と救命要請を自動で行う ドライバー異常時対応システム

レーントレーシングアシスト[LTA]制御中にドライバーの無操作状態が継続している場合、音と表示と緩減速による警告でドライバーに操作を促すほか、ハザードとホーンで車外に異常を報知しながら自車内に減速停車し、自損・加害事故の回避・事故被害低減を支援します。停車後は、ドア解錠やヘルプネット®自動接続による救命要請も行い、早期のドライバー救命・救護に寄与します。

*ヘルプネット®はG-Linkに含まれるサービスです。G-Linkのご利用には別途契約が必要となります。詳しくは93ページをご覧ください。

*ドライバー異常時対応システムは自動車専用道路(一部を除く)を約50km/h以上で走行している場合に作動します。体調異常を直接検知できわけではないため、システムが正常な運転操作と判定した場合は作動しません。



LCは「セーフティ・サポートカー」です。

セーフティ・サポートカー(サボカー)は、政府が交通事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。自動(被害軽減)ブレーキ[対歩行者・対車両]の安全運転を支援する装置を搭載し、ドライバーの安全をサポートします。

■ Lexus Safety System +

*安全装置の各機能の作動には、速度や対象物等の条件があります。また、各機能はドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候等により作動しない場合があります。詳しくは、取扱説明書、またはlexus.jpをご覧いただくか、レクサス販売店におたずねください。

*安全装置はドライバーの安全運転を支援するためのものです。機能を過信せず、安全運転を心がけてください。

道路標識を表示し告知も行う

ロードサインアシスト[RSA]

単眼カメラで認識した「最高速度」「はみ出し通行禁止」「車両進入禁止」「一時停止」の道路標識を、カラーマルチインフォメーションディスプレイに表示します。カラーへッドアップディスプレイには、「最高速度」もしくは「車両進入禁止(告知時)」の道路標識を表示。道路標識の見落としを減らし、安全運転を促します。また、単眼カメラによって認識された「最高速度」「はみ出し通行禁止」「車両進入禁止」の道路標識に対し、違反動作を行っているとシステムが判断した場合、表示の反転や点滅でドライバーに告知します。



*カスタマイズにより、ブザー音(「最高速度」「車両進入禁止」「はみ出し通行禁止」)を作動させることや、告知無しにすることも可能です。

*道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

*カラーへッドアップディスプレイは全車にメーカーオプション。

先行車の発進を知らせる

(付帯機能)先行車発進告知機能[TMN]

先行車の動きをミリ波レーダーと単眼カメラで検出し、自車が先行車に統いて停止後、先行車が発進し一定距離を走行してもなお自車が停止し続けている場合に、カラーへッドアップディスプレイとカラーマルチインフォメーションディスプレイ表示、およびブザーで先行車の発進を告知します。



*シフトポジションが「P」「R」以外でブレーキペダルを踏んで停車している時に作動します。シフトポジションが「N」の時、またはレーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)機能で自車が停止した場合、さらにシフトポジションが「D」の時にブレーキホールドを使用した場合は、ブレーキペダルを踏んでいないなくても作動します。

*先行車が約4m以上進んでも自車が止まつたままだとシステムが判断した場合に作動します。なお、機能のON/OFFおよび通知タイミングの変更が可能です。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

*カラーへッドアップディスプレイは全車にメーカーオプション。

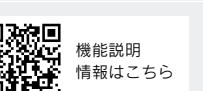
Lexus Safety System +を安全にお使いいただく上の留意事項説明

Lexus Safety System +は予防安全パッケージです。

ご契約に際し、Lexus Safety System +、およびその各システムを安全にお使いいただくための留意事項についてご説明いたします。

ご使用になる際のお客さまへのお願い

- 運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、ねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。
- 各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 車両姿勢が変化する架装・改造や、各システムのカメラ・センサーを遮るような架装・改造を行うと、各システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ご使用の前には、あらかじめ取扱説明書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。



機能説明
情報はこち

OTHER SAFETY

さまざまなシーンで安心感を高める数々のサポート

車両後側方の安全性に寄与する

ブラインドスポットモニター[BSM]

走行中、ドアミラーでは確認しにくい後側方エリアに存在する車両に加えて、隣接する車線の最大約60m後方までモニターし、急接近してくる車両も検知します。車両を検知するとドアミラー内のインジケーターが点灯、車両を検知した状態でウインカーを操作するとインジケーターが点滅し、より注意を喚起します。

*道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

*ブラインドスポットモニター[BSM]およびリヤクロストラフィックアラート[RCTA]はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



急な発進や加速の防止をサポート

ドライブスタートコントロール

シフト操作における急発進・急加速を抑制し、衝突時の被害軽減に寄与します。例えば、後退時に衝突して慌てたドライバーが、アクセルを踏み込んだままシフトを「R」から「D」へ変更した際、表示で注意を促すとともに、エンジン出力/ハイブリッドシステム出力を抑えます。



駐車時の安全を多角的に支援する

リヤクロストラフィックアラート[RCTA]

駐車場から後退する際に、左右後方から接近してくる車両をブラインドスポットモニター[BSM]のレーダーにより検知。12.3インチタッチディスプレイへの表示、ドアミラー内のインジケーター点滅、およびブザーでドライバーに注意を喚起します。

*道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

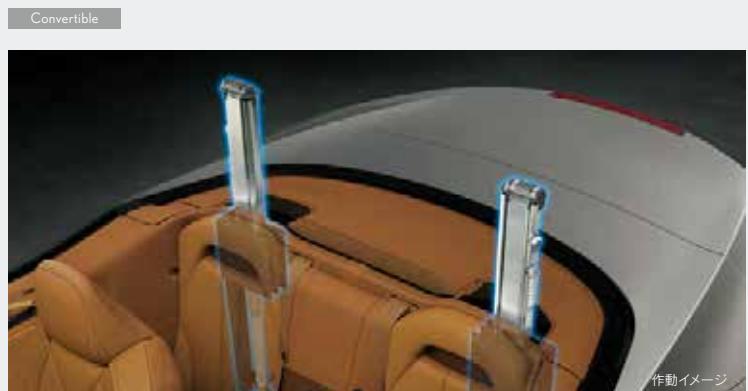
*ブラインドスポットモニター[BSM]およびリヤクロストラフィックアラート[RCTA]はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



ロールオーバー時にボディへの荷重の分散に寄与する

アクティブプロールバー

横転時にボディの一部として荷重を受けるアクティブプロールバー。通常時は後席後方のパッケージトレイ下に格納し、フラットなデザインを実現。万一の横転の際には、車両上方へ展開し、ボディへの荷重の分散に寄与します。



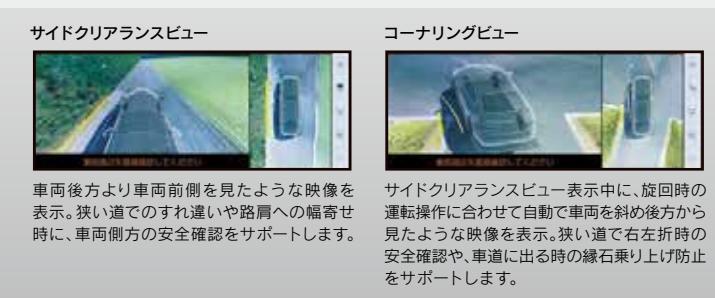
車両周辺の安全確認をサポートする

パノラミックビューモニター(床下透過表示機能付)

運転席から目視しにくい車両周囲の状況をリアルタイムで確認できます。ボディやシートを透かして見たようなシースルービューや、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューも採用。さらに、床下透過表示機能*の設定により、車両直下およびタイヤ付近のアンダーフロア映像を表示して、駐車や乗り抜けを支援します。

*あらかじめ12.3インチタッチディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)Plusにて床下透過表示機能を設定(OFF)することで、車体の動きに連動し、床下透過画像が表示されます。

*画面に映る人や障害物は実際の位置や距離と異なります。映像を過信せず、必ず車両周囲の安全を直接確認しながら運転してください。なお、字光式ナンバープレートは装着できません。



障害物との接近を知らせる

クリアランスソナー & バックソナー

超音波センサーを利用して、車両前方や車両後方の障害物を検知。障害物との距離と接近部位の位置を12.3インチタッチディスプレイに表示し、同時に音声とブザーでドライバーに注意を促します。

*ソナーの感知範囲、作動速度には限界があります。必ず車両周囲の安全を確認しながら運転してください。



ITS専用周波数で通信し、安全運転をサポート

ITS Connect

クルマのセンサーでは捉えきれない見通し外の情報や信号等の情報を、クルマとクルマ、あるいは道路*とクルマが直接通信し、カラーヘッドアップディスプレイやカラーマルチインフォメーションディスプレイでの表示、ブザー音でドライバーに知らせ、安全運転を支援するシステムです。

*路側間通信システムに対応した路側装置は、2024年12月現在、宮城県、茨城県、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、広島県、福岡県に設置されています。

*本システムは「路側装置が設置された交差点」または「本システムが搭載された周辺車両」との間でのみ作動します。また、路側装置が設置された交差点であっても、交差点に進入する方向によっては、作動するシステムが異なる場合があります。本システムはあくまで補助機能です。システムを過信せず、つねに道路状況に注意し、安全運転を心がけてください。

*緊急車両存在通知は通信機を搭載していない車両の存在は案内されません。ドライバー自身が周囲の安全を確認してください。

*通信利用型レーダークルーズコントロールは、先行車や周囲の車両の走行状態によっては、スムーズな追従走行が行われない場合や、自車の速度や先行車との車間距離に影響がおよぶ場合があります。

*右折時注意喚起は、路側装置が設置された交差点であっても、路側装置の種類や、交差点に進入する方向によっては、対向車のみを検知し、歩行者がいることを注意喚起しない場合があります。なお、対向車や歩行者が路側装置(感知器)の検出範囲外に存在している場合や、路側装置(感知器)が車両の特徴や環境条件・経年変化等によって未検知や誤検知を起こす場合は、注意喚起しないことや、通知内容が実際の道路状況と異なる場合があります。ご利用可能なサービス提供場所については、レクサス販売店におたずねください。

*下記の機能は一例です。

*カラーヘッドアップディスプレイは全車にメーカーオプション。

クルマとクルマがつながる車両間通信システム



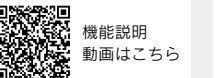
緊急車両存在通知
サイレンが鳴らしている緊急車両(救急車)が存在する場合に、ブザー音で通知し、自車に対するおおよその方向・距離・緊急車両の進行方向を表示します。救急車が見えにくく、騒音でサイレンが聞こえにくい等の状況でも、事前に緊急車両の存在を知ることが可能となります。

通信利用型レーダークルーズコントロール
レーダークルーズコントロールで先行車に追従している時、先行車が通信利用型レーダークルーズコントロール対応車両であれば、車両間通信により取得した先行車の加減速情報を素早く反応して車間距離や速度の変動を抑制し、スムーズな追従走行が可能となります。

道路*とクルマがつながる路車間通信システム



右折時注意喚起
交差点右折時、道路側の路側装置で死角の対向車や右折先の横断歩行者を検知。接近している対向車や歩行者をいるにもかかわらずドライバーが発進しようとした場合に、表示とブザー音による注意喚起を行い、安全に右折できるよう支援します。



機能説明
動画はこちら





COMFORT

人を中心とした空間のあり方を考え抜く。
レクサスのインテリアにおける基本となっているのは、
人の気持ちを先取りするような
技術や配置が織り込まれた空間デザインです。
この美意識は、見るもの、聞こえるもの、触れるもの、
そのすべてに息づいています。

ドライビングを心ゆくまで堪能する空間

先進の機能による快適なナビゲーションや、
圧倒的なクオリティで心にまで響くサウンド。
ドライビングのために高められた室内空間が、
アクセルを踏むひとときを特別な体験にします。

NAVIGATION SYSTEM

ドライブをサポートする先進のナビゲーションシステム



鮮度ある情報でドライブをアシスト

コネクティッドナビ(車載ナビ有)

G-Link契約をご利用いただけるセンター通信型のナビ機能です。

必要な契約	G-Link
特徴	・車載機にナビデータを保持する、G-Link センター通信型ナビ ・G-Linkセンター内の最新の目的地情報と地図データを利用可能*
G-Link 解約後	車載ナビ機能を利用可

* 通信圏外エリアや通信障害時等、通信環境によって車載ナビを使ったナビ機能を使用します。

従来のナビゲーションよりもリアルタイムな情報提供を可能にしました。例えば飲食店検索では、口コミ点数や営業時間を検索結果の一覧に表示します。また、駐車場検索では、料金や空き状況を地図上に表示するなど、目的地の選択に役立つ幅広い情報を提供します。

【サービス】
駐車場検索



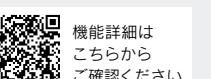
【表示コンテンツ】
・ブランドアイコン
・満空情報
・料金情報

【サービス】
グルメ検索



【表示コンテンツ】
・レーティング(口コミ)
・営業時間

「Hey レクサス」などと話しかけるだけで利用できる エージェント(音声対話サービス)



最新エージェントは、一切のスイッチ操作なく「Hey レクサス」とクルマに話しかけるだけで起動。スマートセンターのコンテンツを利用して目的地検索やニュース、天気予報などの情報提供、ナビゲーションやオーディオ操作にも対応しています。

※ステアリングのトースイッチを押して発話することで起動も可能です。

■起動ワードに対応

「Hey レクサス」など声でエージェントを起動。起動ワードは自由に設定できます。

■ナビゲーションやオーディオ操作にも対応

「地図を拡大して」「FM<周波数>に合わせて」「温度をあげて」などの操作も可能です。詳しくは右記取扱説明書サイト(<https://manual.lexus.jp/>)をご確認ください。

■「エージェント+」で先読み案内

ルート設定に関係なく日常の走行情報から先読みして役立つ情報を提供します。

※G-Link契約が必要です。



Apple CarPlayやAndroid Auto™に対応した オーディオ&ビジュアル機能

スマートフォンと12.3インチタッチディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)Plusを連携させるApple CarPlay、Android Auto™に対応。音楽再生やハンズフリー通話、メッセージの送受信など、お気に入りのアプリケーションを車内でもスムーズにお使いいただけます。Apple CarPlayは、従来のUSB接続に加え、Bluetooth®とWi-Fi®による無線接続にも対応します。

◎Apple CarPlay / Android Auto™に対応*

◎地上デジタルTVチューナーを標準装備

◎センターコンソール内部のUSB Type-Aに接続して、携帯音楽プレーヤーやUSBメモリー(MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/OGG Vorbis)を再生

◎Bluetooth®AVプロファイル対応の携帯音楽プレーヤーをワイヤレス再生

◎Bluetooth®対応の携帯電話によるハンズフリー通話

*ご利用にはUSBケーブルが別途必要です。Apple CarPlayのみ、USB接続に加え、Bluetooth®とWi-Fi®による無線接続に対応します。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

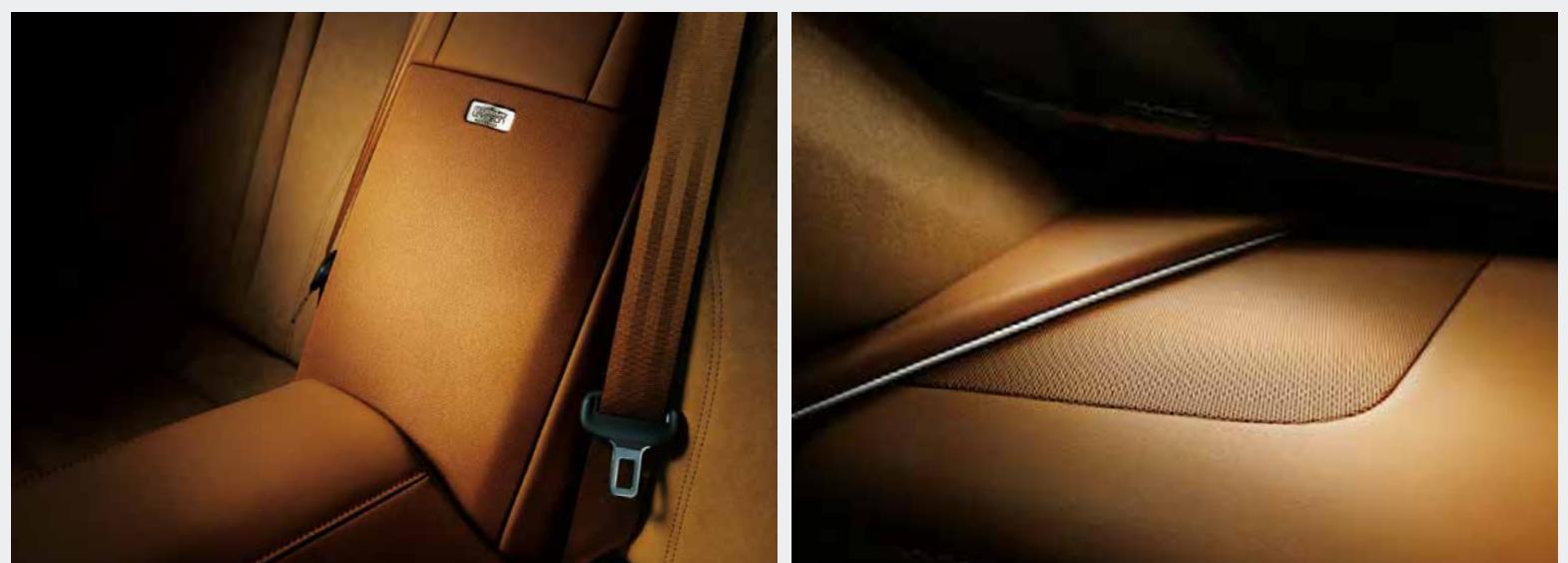
※Apple CarPlay/Android Auto™は、機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。詳細はWEBサイトをご確認ください。

※走行中は安全のため一部操作できない機能があります。

※TV放送は安全のため走行中は画像が消え、音声のみとなります。外部メディアの映像は、録画機器の種類によって再生できない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



※画面はイメージです



SOUND SYSTEM

音の原点から磨き上げたサウンドクオリティ

すつきりとした音の広がりを生み出す
レクサスLCプレミアムサウンドシステム



「目の前のステージに広がる、魅惑のボーカル、躍動するリズム」をコンセプトに、圧縮された音源も正確に再現する12スピーカーシステム。ツイーターとミッドレンジの点音源化を追求した9cm CSTスピーカーは、再生音域をウーファー帯域の一部へも拡大し、ボーカル帯域のほぼすべてを再生。不要な振動を抑制する16cmボックスウーファーと共に、アーティストの姿を鮮やかに再生し、音楽の躍動を余すことなく再現します。

LC500 Convertibleでは、より広がり感と包まれ感のある立体的な音場を創出できるように、CSTスピーカーの位置を最適化。さらに、ルーフオープン時は開放的な走りと調和した心地良く楽しめる音場、ルーフクローズ時はゆったりと音に没頭できる音場制御を実施。走行シーンに合わせた楽しみ方を提供します。また、本アルミの質感と重厚な操作感を併せ持つオーディオダイヤルを備え、見ること触ることまで含めた豊かなサウンドを体感できます。LCではハイレゾ再生に対応しています。



* LC500 Convertibleでは後席に設置となります。

すぐれた静謐性により会話がしやすい
防音・遮音対策 / アクティブノイズコントロール

コンバーチブルでの静謐性を左右するリヤのルーフ格納部からのノイズ。これを低減するため、ホイールハウスで使われるフェンダーライナー材をルーフ格納部のトリム全面に採用し、吸音材として活用しました。また、エンジンこもり音を抑えるアクティブノイズコントロールをクーペ/コンバーチブルともに設定。特にコンバーチブルではヘッドレストにマイクを搭載してルーフオープン時のこもり音も低減するなど、快適な室内空間を確保します。

リスニングルームの臨場感を響かせる
“マークレビンソン”リファレンスサラウンドサウンドシステム

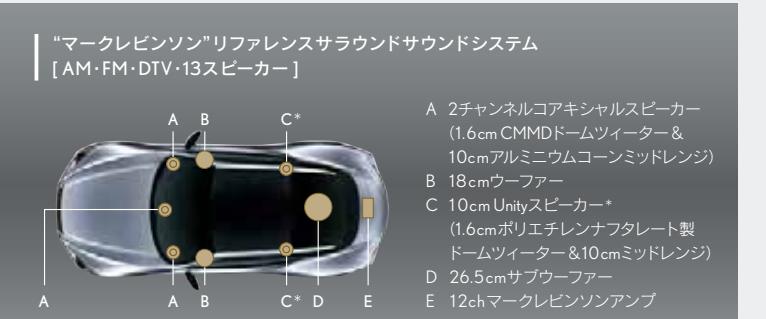


ハイエンドオーディオというジャンルを確立し、50年にわたり君臨し続けているマークレビンソン。そのオーディオを搭載するただ一つのプレミアムカーブランドがレクサスです。LCは、素材から開発した新世代13スピーカーによる7.1chサラウンドシステムを搭載。フロントツイーターにはセラミックコートを施した超軽量アルミ振動板CMMを採用し、透明感溢れる高音域を再生。18cmドアウーファーとリヤシート中央の26.5cmサブウーファーとともに高い解像度・清澄度と力強さを実現します。後席サイドの10cm Unityスピーカー*には、剛性が高く、信号の入力から再生までの応答速度にすぐれたツイーターとミッドレンジを配置。システム全体で楽器一つひとつの位置や奥行きを再生する正確なサウンドステージを実現し、豊かなダイナミクスを持つ音楽の感動を伝えます。また、圧縮音源復元テクノロジー、クラリファイ™により、音楽ファイルの圧縮時に失われた低音・高音の補完のみならず、圧縮時に生じた歪みなどを除去し、自然なボーカルの質感やステレオ感までも復元します。

LC500 Convertibleでは、ルーフオープン/クローズ時それぞれに適した音響設計に自動で切り替わる制御を採用。オープン時には、拡散などにより音響空間が異なるため、クローズ時と同様に聴こえるように、音の補完、調整を行います。LCではハイレゾ再生に対応しています。

* 7.1chサラウンドシステムは、サラウンドスイッチがオフの状態では、録音ソースそのままでの再生(2ch / 5.1ch)となります。

全車



* LC500 Convertibleでは9cm Unityスピーカー(ツイーター+ミッドレンジ一体構造)となり、後席ヘッドレストに設置となります。

※日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品に口印を冠しています。
※トヨタ自動車(株)と複数の日本オーディオ協会会員企業による協業によりハイレゾ定義に準拠した製品となっております。一部スピーカーの変更/オーディオの変更をした際には、ハイレゾ音質をサポートしません。

=メーカー選択

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表をご確認ください。



LEXUS TOTAL CARE

オーナー様だけの安心と満足を、24時間365日。
レクサスを選ぶ理由が、また一つ増えていきます。

CONNECTED

コネクティッド

「つながり」が広げるカーライフ。いつでも最適な運転環境を。



ナビゲーション

「つながる」技術で進化する車載カーナビゲーション。
ビッグデータの渋滞予測で目的地まで
スムーズに、快適に。



スマートフォン連携

レクサスライフをより快適に。
スマートフォン連携機能も充実。



My LEXUS(WEB)と レクサスオーナーズ カード

大切なお車に関する情報はネットワークで管理。
My LEXUS(WEB)や販売店、各種サービスの
ご利用時に最適な対応がスムーズに受けられます。



CONCIERGE

コンシェルジュ

あなたのレクサスライフを、24時間365日、いつでもサポート。



レクサスオーナーズデスク ドライブサポート

ナビの目的地設定や駐車場案内など
専任コミュニケーターが
24時間365日サポートします。

- ・ナビゲーションの目的地設定*
- ・道路交通情報の案内*
- ・駐車場の案内*
- ・天気予報・ニュースの配信*
- ・施設情報案内*
- ・電話番号の案内*
- ・ダイヤル先設定* 等



レクサスオーナーズデスク お問い合わせ・ご相談サービス

JAFや保険会社、ご家族への連絡など
トラブル直後から事後のケアまで
幅広く支援します。

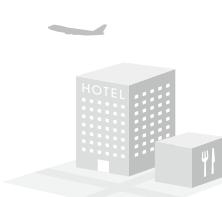
- ・レクサス車に関する問い合わせ
- ・レクサス販売店への連絡
- ・JAFの手配
- ・保険会社への取り次ぎ*
- ・ご家族の方などへの伝言*
- ・宿泊・交通手段の確保*
- ・診療機関の案内*



レクサスオーナーズデスク ご紹介・ご予約サービス

ホテル・レストラン・
国内航空券などをいつでも手配。
急な出張やお出かけも安心です。

- ・ホテルの紹介・予約*
- ・レストランの紹介・予約*
- ・国内航空券の予約*
- ・レンタカー予約の取り次ぎ*



SECURITY

レクサスの安心

この安心感こそが、レクサスらしさ。万一の時に、確かなサポートを。



G-Security

オーナー様がお車から離れている時も
大切な愛車をいつでも見守ります。
車両盗難や車上荒らしなどを検知した場合は
すぐにお知らせします。

- ・マイカー始動ロック
「My LEXUS」アプリで、離れた場所から
車の始動をロックすることができます。



ヘルプネット®

突然の事故や急病にも備えられる心強さ。万一の際はヘルプネット®
センターにつながり、警察や消防への緊急通報をサポートします。

レクサス 緊急サポート24

もしも車が走行不能になった時も、スピーディに手厚くサポート。
必要な連絡や手配をワンストップで済ませることができます。



MAINTENANCE

メンテナンス

レクサスらしい走りをいつも保つために。独自の長期保証とメンテナンス。



新車保証

万全の長期保証でいつも安心。万一不具合があつても、初度登録日から5年間、
走行距離10万km以内であれば保証内容に基づき無料修理いたします。



レクサスケア メンテナンスプログラム

いつも最良のコンディションのお車にお乗りいただくために。初度登録日から
3年間*、点検およびメンテナンスを無料で行います。*自家用乗用車の場合



リモートメンテナンス サービス

定期点検やメンテナンスの案内はメールでお車にお届け。
お車の異常を検知した場合もメールでお知らせします。



ソフトウェア更新

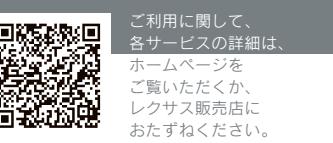
ついに最新のナビで、快適なドライブを。
ご購入後も定期的にソフトウェア更新が受けられます。



*印の付いたサービスについては、G-Linkのご契約が必要となります。ご利用に関して、各サービスの詳細は、ホームページをご覧いただか、レクサス販売店におたずねください。
尚、G-Linkはレクサス販売店でお申込みいただけます。販売店でお申込みの際に、別途、手数料をいただきます。手数料は販売店が独自に定めておりまますので、詳しくは販売店におたずねください。

専用スマートフォンアプリでカーライフに新たな快適をお届けします。

アプリ名	利用機能	利用条件
My LEXUS 	<ul style="list-style-type: none"> ・G-Security ・e ケア ・リモートエアコン ・マイセッティング ・マイカーアクセスなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・G-Link契約 ・TOYOTAアカウント取得 



■LEXUSTOTALCARE サービス内容と適用時期

	初度登録		初回車検		2回目車検	
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目～
24h 365日 無償	レクサス オーナーズデスク		無償ご提供		一部有償	
3年間 無償	G-Link [コネクティッドナビ(車載ナビ有)利用料を含む]		無償ご提供		有償ご提供 -2年継続 36,000円 -1年継続 19,000円 -1ヶ月継続 1900円 ※価格はすべて(税込み)表記です。	
	車内Wi-Fi 有料オプション		有償ご提供 ・月払い 1,650円/月	※価格はすべて(税込み)表記です。		
5年間 無償	新車保証		無償ご提供		有償ご提供 レクサスケア 延長保証プラン	
3年間 無償	レクサスケア メンテナンスプログラム		無償ご提供			
	メンテナンス実施時期(経過月)	1	12	24		
	各種点検(室内・エンジンルームほか)					
	オイル交換 ^{*1}					
	オイルフィルター交換 ^{*1}					
	ワイヤーゴム交換					
	エアコンフィルター交換					

*1. BEVのレクサスケアメンテナンスプログラムには、オイル交換、オイルフィルター交換はございません。

*2. レクサスケアメンテナンスプログラムⅡの点検整備内容につきましては、レクサス販売店にお問い合わせください。

※G-Link、レクサスオーナーズカードは、新車・CPOをご購入いただきましたお客様に限りご提供させていただきます。

※G-Linkサービス、My LEXUSアプリのご利用にはG-Linkのご契約が必要となります。

※G-Link基本利用料は、新車ご購入の場合は初度登録日から3年間無料、CPOご購入の場合はご購入後2年間無料です。無料期間終了後のG-Link契約、手続きにつきましてはレクサス販売店にお問い合わせください。

※G-Linkはレクサス販売店でお申込みいただけます。販売店でお申込みの際に、別途、手数料をいただく場合があります。手数料は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは販売店におたずねください。

※ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)Plusは、ナビデータを車載機に保持しているためG-Linkを契約されない場合でもナビゲーション機能をご利用いただけます(一部機能に制限がかかります)。

※G-Linkはトヨタコネクティッド(株)およびトヨタ自動車(株)が提供するサービスです。

※G-Linkは東京ガス株式会社の登録商標で使用許諾を受けて使用しています。

※G-Linkは、LTE (Long Term Evolution) 通信を利用しており、電波状況によりサービスをご利用いただけない場合があります。

※「ヘルプネット(HELPNET)」は(株)日本緊急通報サービスの登録商標です。

※安全のため走行中は操作や画面表示が制限されます。

※新車保証は、初度登録日から5年間(走行距離10万km以内)、保証内容に基づき無料修理を行います。

※レクサスケアメンテナンスプログラムは、新車をご購入いただきましたお客様に限り、初度登録日から3年間(初回車検の前日までの自家用乗用車)テクニカルスタッフによる点検・メンテナンスを無料で行います。

CPOには同様のCPO(レクサス認定中古車)専用サービスをご用意しております。

※レクサスオーナー様とお車のための自動車保険プランもご用意しております。

※記載情報の詳細につきましてはレクサス販売店にお問い合わせください。

※レクサスストアルケアのサービス内容は予告なく変更されることがあります。(このサービス内容は2025年4月現在のものです)

EQUIPMENT

■エクステリア



■パフォーマンス



ポップアップハンドル

走行時にはドアに格納され、車体側面の空気流を乱すことのないフラッシュサーフェースタイプ。車両の運動性能向上に寄与します。操作は、電子キーを携帯した状態でハンドル前端部を押し込むとアンロックとなり、ハンドルが電動でポップアップし、ドアを開けることができます。降車時にはポップアップしたハンドル後端部を押し込むことでロックし、格納されます。

パフォーマンスダンパー®(リヤ)

リヤバンパーアーリインフォースメント部に「パフォーマンスダンパー®」を設定。走行中に生じるボディのねじれや微振動を速やかに吸収し、ハンドリング特性をいつそうシャープにするとともに、すぐれた乗り心地にも貢献します。

LC500全車

■パフォーマンス

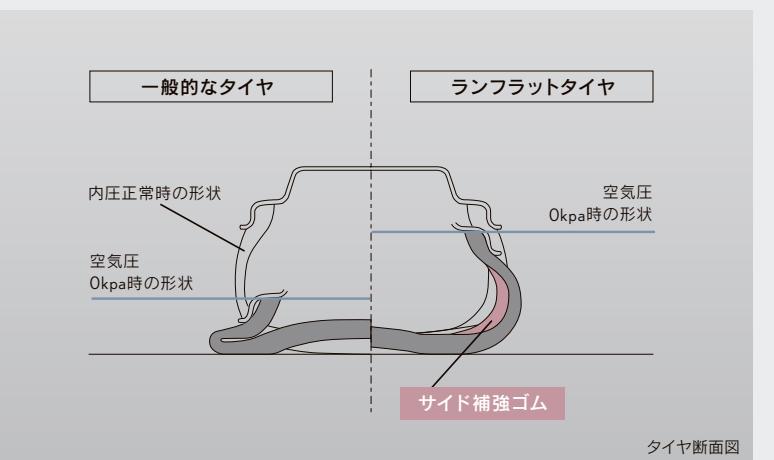


オートマチックトランスミッション(AT)オイルクーラー

ATオイルの熱を効率よく冷却することで、サーキット走行等での油温上昇を抑制し、スムーズなシフトチェンジと快適なドライブフィールを実現します。

LC500全車

■セーフティ



ランフラットタイヤ

万一、タイヤがパンクし、空気圧がゼロの場合でも、時速80km/h以下で最長160kmまでの走行が可能です。

全車

※気候や走行状況などによっては、80km/hまで速度を出せない場合があります。走行可能距離は条件によつて異なります。なお、パンク走行後の再使用はできません。

= 標準装備

= メーカーオプション

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

EQUIPMENT

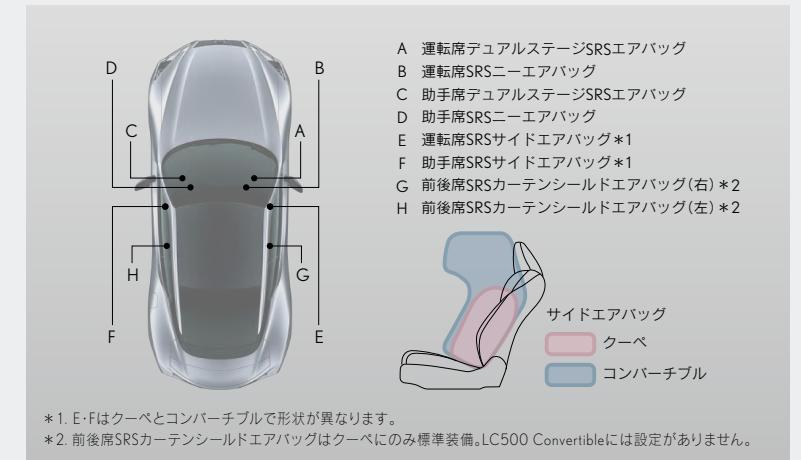
■セーフティ



ハイマウントストップランプ

ルーフ後端に設定したクーペに対し、コンバーチブルではトランクリッド後端に設定しています。

■セーフティ



SRSエアバッグシステム

カーテンシールドエアバッグの設定ができないコンバーチブルでは、サイドエアバッグの保護エリアを頭部まで拡大しています。

*SRSエアバッグシステムは衝突時の条件によっては作動しない場合があります。SRSエアバッグはあくまでシートベルトを補助する装置ですので必ずシートベルトをご着用ください。

■機能装備



電子キー＆カードキー

電子キーは、薄く、軽く手に馴染む造形に加えて、表皮素材と金属素材を精緻に融合し、手に触れた時の上質感と使いやすさを両立しています。

■セーフティ



タイヤ空気圧警告表示(カラーマルチインフォメーションディスプレイ表示付)

空気圧が低下したタイヤがあると、メーター内のインジケーターランプ点灯とともに、カラーマルチインフォメーションディスプレイに空気圧の数値を反転表示します。

イグニッションONで空気圧を検出するため、走行前に確認が可能です。

※電波環境によっては空気圧の検出ができない場合があります。



4点式ポップアップフード

歩行者との万一の衝突時、瞬時にフードを持ち上げて衝撃吸収スペースを確保。歩行者の頭部への衝撃緩和に寄与します。

※衝突の条件によっては作動しない場合があります。ポップアップフードが作動した場合には、バンパーやフロントフード等の損傷有無にかかわらず、ポップアップアクチュエーター等の交換・修理が必要となります。なお、字光式ナンバープレートおよびフロントナンバーフレームは装着できません。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

■機能装備



ワンタッチウォークインシート

フロントシートのショルダー部に設置したレバーでシートバックを前倒しすると、運動してシートのスライド・リフトの各機能を制御し、自動で乗り込みやすい位置まで移動。シートバックを起こすことで、元のポジションに自動復帰するメモリー付です。

なおコンバーチブルでは、レバーに専用デザインを採用。縁取りに金属調処理を施すことで、力強さと上質な印象を演出しています。

EQUIPMENT

■インテリア



ベルトガイド

コンバーチブルのベルトガイドでは、金属の塊から削り出したような造形で剛性感を表現。また、革ベルトとのコンビネーションにより、オープン時でも見応えのある質感です。

Convertible



インサイドドアハンドル

ロックボタンのないシンプルな構造で、自然に手に馴染む曲線を追求。ドアハンドル操作でアンロックが行え、ロック時はグリーンの照明が点灯します。

■インテリア



ナノイーX ●・nanoe^X

ナノイーXは、ナノイーに比べて、効果の元であるOHラジカルをより多く含む微粒子イオンです。インストルメントパネル中央のエアコン吹出口から室内へ放出されます。車室内を快適な空気環境に導くナノイーがさらに進化しました。

※nanoe(ナノイー) = nano-technology+electric

最先端のテクノロジーから生まれた“水に包まれている電気を帯びたイオン”。

※使用環境によってはナノイーの効果が十分に得られない場合があります。

■その他



ラゲージルーム(LC500h)

容量約170ℓ(VDA方式)。

LC500h

※写真はパンク修理キット装着車です。ランフラットタイヤ装着時はパンク修理キットは装着されません。

■インテリア



カラーHEADアップディスプレイ

運転に必要な情報をウインドシールドガラスの視野内に投影します。車速、レーン表示のほかに簡易ナビゲーションなど、さまざまな情報をエンジンフードの上部にあるかのような距離感でワイドに表示。内容に応じてアイコンの重要なパートをカラーで表示することで、情報を瞬時に分かりやすく認識することができます。

全車

※サングラス(特に偏光サングラス)をかけた際に、カラーHEADアップディスプレイが見えづらくなる場合があります。



12.3インチタッチディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)Plus

ナビゲーションなどのマルチメディアシステムをスムーズなタッチ操作で直感的に使いこなせるタッチディスプレイを採用。画面の隅まで無理なく手が届き、操作できる位置にレイアウトしています。画面をガラス素材にすることで、視認性や操作性にも配慮しました。

[Miracast[®]]

Wi-Fiを使って、モバイル端末の画面を車内のディスプレイに表示します。お気に入りの映画、音楽、スポーツなど、さまざまなコンテンツを12.3インチのワイド画面で楽しむことができます。車内Wi-Fi契約時は、インターネットブラウザ機能をお使いいただけます。

※モバイル端末が「Miracast[®]」に対応していることを必ずご確認ください。走行中は安全のため画像が消え、音声のみとなります。

■その他



ラゲージルーム(LC500)

容量約195ℓ(VDA方式)。

LC500

※写真はパンク修理キット装着車です。ランフラットタイヤ装着時はパンク修理キットは装着されません。



ラゲージルーム(LC500 Convertible)

容量約147ℓ(VDA方式)。

Convertible

※写真はパンク修理キット装着車です。ランフラットタイヤ装着時はパンク修理キットは装着されません。

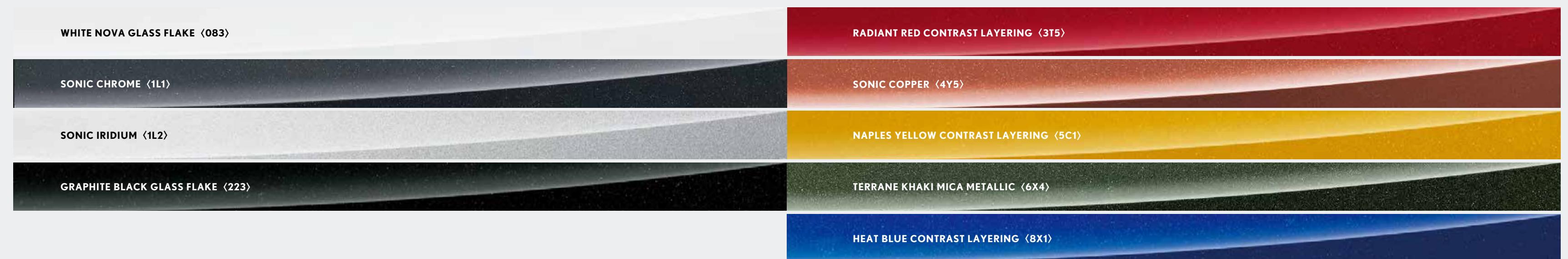


LEXUS COLORS

光の当たる角度や時間帯によって変わる、多彩な表情。
艶やかでありながら強いコントラストを生む、深みのある陰影感。
TAKUMI の手によって磨かれた極めて平滑な
下地づくりと、独自の工程により
クルマの塗装を超越した、唯一無二の色へと昇華されるレクサスカラー。
デザイナーの研ぎ澄まされた色彩感覚と、
エンジニアの絶え間ない探求が、
レクサスならではの魅力を湛えたカラーを生み出します。

BODY COLOR SELECTION

COUPE



ホワイトノーヴァガラスフレーク(083)*1



ソニッククロム(1L1)*1



ラディアントレッドコントラストレイヤリング(3T5)*2 全車



ソニックカッパー(4Y5)*2 全車



ソニックイリジウム(1L2)*1



グラファイトブラックガラスフレーク(223)*1



ネーブルスイエローコントラストレイヤリング(5C1)*2 全車



テレーンカーキマイカメタリック(6X4)*2



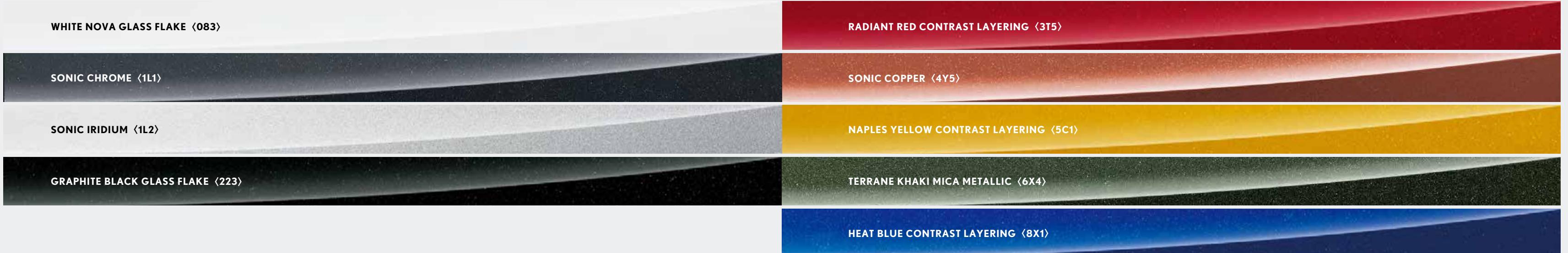
ヒートブルーコントラストレイヤリング(8X1)*2 全車

美しさを保つセルフリストアリングコート

洗車などによる小さなすり傷を自己修復するセルフリストアリングコートを全カラーに採用。分子レベルで結合しやすい特性を備え、新車時の光沢とカラーを長期にわたり保持することに貢献します。

BODY COLOR SELECTION

CONVERTIBLE



ホワイトノーヴァガラスフレーク<083>^{*1}



ソニッククロム<1L1>^{*1}



ラディアントレッドコントラストレイヤリング<3T5>^{*2} 全車



ソニックカッパー<4Y5>^{*2} 全車



ソニックイリジウム<1L2>^{*1}



グラファイトブラックガラスフレーク<223>^{*1}



ネーブルスイエローコントラストレイヤリング<5C1>^{*2} 全車



テレーンカーキマイカメタリック<6X4>^{*2}



ヒートブルーコントラストレイヤリング<8X1>^{*2} 全車



ルーフ色



マリーンブルー^{*3}



ブラック^{*4}



サンドベージュ^{*5}



レッド^{*6}

*3. インテリアカラーでブルー&ホワイトを選択した場合のみ選択可能。

*4. インテリアカラーでブラック、ダークローズを選択した場合のみ選択可能。

*5. インテリアカラーでオーカーを選択した場合のみ選択可能。

*6. インテリアカラーでダークローズを選択した場合のみ選択可能。

INTERIOR COLOR SELECTION

オーカー*1



ダークローズ*1



ブラック*1



ブラック

ブルー&ホワイト*1



"S package" *2 *3 "L package" Convertible *4 LC500h *2 LC500 *2

*1. Photo: LC500h "L package".
*2. インテリアカラーでブルー&ホワイトを選択した場合、運転席・助手席セミアニリン本革スポーツシート(ベンチレーション機能・ヒーター付) & 後席L texシート、メーターフードは合成皮革となります。
*3. インテリアカラーでブルー&ホワイトを選択した場合、ルーフ/サンバイザー/ピラー・ルーフサイドガーニッシュはペレーザとなります。
*4. インテリアカラーでブルー&ホワイトを選択した場合、カラーヘッドアップディスプレイが同時装着となり、メーカーオプション価格が別途加算されます。

LC500h / LC500 “S package”



Photo: LC500h "S package".ボディカラーはソニックイリジウム(L2)。



Photo: LC500h "S package".



CFRPルーフ



フロント245/40R21+リヤ275/35R21
タイヤ&鍛造アルミホイール (ブラック+
ハイパークロムメタリック塗装)*1



アクティブリヤウイング (格納式)
タイヤ&鍛造アルミホイール (切削光輝+
スチーブンソンスラッシュメタリック塗装)*1



CFRPスカッフプレート



■ インテリアカラー



オーカー



ブラック



ダークローズ

その他の標準装備 (110ページのその他の標準装備から追加・変更される装備)

- トルセン®LSD
- ギヤ比可変ステアリング[VGRS]
- フロント: 対向6ポッドアルミノブロックキャリパー・Φ400mmスパイラルフлан式
ベンチレーテッドディスクブレーキ(2ピースディスク・高摩擦ブレーキパッド付)
- リヤ: 対向4ポッドアルミノブロックキャリパー・Φ359mmスパイラルフлан式
ベンチレーテッドディスクブレーキ(高摩擦ブレーキパッド付)
- VDIM(アクティブステアリング統合制御)
- LDH(レクサス・ダイナミック・ハンドリングシステム)
- アルカンターラ®ルーフ/サンバイザー/ピラー・ルーフサイドガーニッシュ*2
等

その他のメーカーオプション

- オートマチックトランミッション(AT)オイルクーラー LC500
- オレンジフレーキキャリバー(フロント・リヤLEXUSロゴ)
- フロント245/40R21+リヤ275/35R21ランフラットタイヤ&鍛造アルミホイール
(ブラック+ハイパークロムメタリック塗装)*1
- フロント245/40R21+リヤ275/35R21ランフラットタイヤ&鍛造アルミホイール
(切削光輝+スチーブンソンスラッシュメタリック塗装)*1
- カラーヘッドアップディスプレイ
- (インテリアカラーでブルー&ホワイトを選択した場合)
運転席・助手席セミアニリン本革スポーツシート(ベンチレーション機能・ヒーター付)&後席Ltexシート*2
- “マークレビンソン”リファレンスサラウンドサウンドシステム
- 寒冷地仕様(リヤオフグランプ・ウインドシールドデアイサー等)

■ シートマテリアル(フロント)



アルカンターラ®/セミアニリン本革 (オーカー)



アルカンターラ®/セミアニリン本革 (ダークローズ)



アルカンターラ®/セミアニリン本革 (ブラック)



セミアニリン本革 (ブルー&ホワイト)*2

*1. タイヤチェーンを装着することはできません。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

*2. インテリアカラーでブルー&ホワイトを選択した場合、運転席・助手席セミアニリン本革スポーツシート

(ベンチレーション機能・ヒーター付) & 後席Ltexシートとなり、

ルーフ/サンバイザー/ピラー・ルーフサイドガーニッシュはベレーザ、メーターフードは合成皮革となります。

= メーカーオプション

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

LC500h / LC500



Photo: LC500h。ボディカラーはグラファイトブラックガラスフレーク(223)。



ダークローズ

Photo: LC500h.



CFRPルーフ



フロント245/40R21+リヤ275/35R21タイヤ &
鍛造アルミホイール
(ブラック+ハイバーコロムメタリック塗装)*1



フロント245/40R21+リヤ275/35R21タイヤ &
鍛造アルミホイール
(切削光輝+スーパーグロスブラックメタリック塗装)*1



CFRPスカッフプレート

LC500h

LC500

その他の標準装備

- パフォーマンスダンパー*(リヤ) | LC500
- フロント: 対向6ポッドアルミノブロックキャリパー・Φ400mmスパイラルfin式
ベンチレーテッドディスクブレーキ(2ピースディスク)
- リヤ: 対向4ポッドアルミノブロックキャリパー・Φ359mmスパイラルfin式
ベンチレーテッドディスクブレーキ
- VDIM
- パワーアクセスシステム(運転席オートストライドアウェイ&リターンメモリー機能付)
- ベレーザルーフ/サンバイザー/ピラー・ルーフサイドガーニッシュ
- アルカンターラ®メーターフード*2
- 運転席・助手席アルカンターラ®/セミアニリン本革スポーツシート(ベンチレーション機能・ヒーター付)
&後席アルカンターラ®シート*2
- 運転席・助手席8Way調整式アームレスト
(運転席ポジションメモリー/運転席・助手席電動ランバーサポート付)
- 等

その他のメーカーオプション

- トルセン®LSD | LC500*3*4
- オートマチックトランミッション(AT)オイルクーラー | LC500
- フロント: 対向6ポッドアルミノブロックキャリパー・Φ400mmスパイラルfin式
ベンチレーテッドディスクブレーキ(2ピースディスク/高摩擦ブレーキパッド付) | LC500*4
- リヤ: 対向4ポッドアルミノブロックキャリパー・Φ359mmスパイラルfin式
ベンチレーテッドディスクブレーキ(高摩擦ブレーキパッド付) | LC500*4
- オレンジブレーキキャリパー(フロント・リヤLEXUSロゴ)
- フロント245/40R21+リヤ275/35R21ランフラットタイヤ & 鍛造アルミホイール
(ブラック+ハイバーコロムメタリック塗装)*1
- フロント245/40R21+リヤ275/35R21ランフラットタイヤ & 鍛造アルミホイール
(切削光輝+スーパーグロスブラックメタリック塗装)*1
- カラーヘッドアップディスプレイ
- (インテリアカラーでブルー&ホワイトを選択した場合)
運転席・助手席セミアニリン本革スポーツシート(ベンチレーション機能・ヒーター付) & 後席Ltexシート*2
- “マークレビンソン”リファレンスサラウンドサウンドシステム
- 寒冷地仕様(リヤオフグランプ・ウインドシールドデアイサー等)

■ インテリアカラー



オーカー



ブラック



ブルー&ホワイト*2

LC500h

LC500

■ シートマテリアル(フロント)



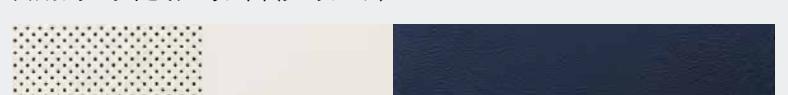
アルカンターラ®/セミアニリン本革(オーカー)



アルカンターラ®/セミアニリン本革(ダークローズ)



アルカンターラ®/セミアニリン本革(ブラック)



セミアニリン本革(ブルー&ホワイト)*2

LC500h

LC500

*1.タイヤチェーンを装着することはできません。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

*2.インテリアカラーでブルー&ホワイトを選択した場合、運転席・助手席セミアニリン本革スポーツシート

(ベンチレーション機能・ヒーター付) & 後席Ltexシート、メーターフードは合成皮革となります。

*3.トルセン®LSDを選択した場合、アクティブコーナリングアシスト[ACA]は装着されません。

*4.トルセン®LSDとフロント・リヤブレーキ(高摩擦ブレーキパッド付)は同時装着となります。

また、スポーツモード付VDIMが同時装着され、EXPERTモードが選択可能になります。

= 標準装備

= メーカーオプション

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

LC500h / LC500 “L package”



Photo: LC500h "L package".ボディカラーはホワイトノーヴァガラスフレーク(083)。
フロント245/40R21+リヤ275/35R21タイヤ&鍛造アルミホイール(切削光輝+スーパーグロスブラックメタリック塗装)はメーカーオプション。



ガラスパノラマルーフ



フロント245/40R21+リヤ275/35R21タイヤ&
鍛造アルミホイール
(ブラック+ハイバーコロムメタリック塗装)*1



フロント245/40R21+リヤ275/35R21タイヤ&
鍛造アルミホイール
(切削光輝+スーパーグロスブラックメタリック塗装)*1

LC500h LC500

その他の標準装備 (110ページのその他の標準装備から追加・変更される装備)

- ガラスパノラマルーフサンシェード(マニュアル)
- 合成皮革メーターフード*2
- スカッフプレート(ステンレス/パッド付)
- 連転席・助手席セミアニリン本革シート(ベンチレーション機能・ヒーター付)&後席Ltexシート
- 連転席・助手席10Way調整式/マーシート
(運転席ポジションメモリー/運転席・助手席電動ランバーサポート付)
- 上下電動調整式ヘッドライト(運転席・助手席)
等

その他のメーカーオプション

- ツルセン®LSD LC500 *3*4
- オートマチックトランミッション(AT)オイルクーラー LC500
- フロント: 対向6ポッドアルミモノブロックキャリパー・Φ400mmスパイラルfin式
ベンチレーションディスクブレーキ(2ピースディスク/高摩擦ブレーキパッド付) LC500 *4
- リヤ: 対向4ポッドアルミモノブロックキャリバー・Φ359mmスパイラルfin式
ベンチレーションディスクブレーキ(高摩擦ブレーキパッド付) LC500 *4
- オレンジブレーキキャリパー(フロント・リヤLEXUSロゴ)
- フロント245/40R21+リヤ275/35R21ランフラットタイヤ&鍛造アルミホイール
(ブラック+ハイバーコロムメタリック塗装)*1
- フロント245/40R21+リヤ275/35R21ランフラットタイヤ&鍛造アルミホイール
(切削光輝+スーパーグロスブラックメタリック塗装)*1
- カラーヘッドアップディスプレイ
- “マークレビンソン”リファレンスサラウンドサウンドシステム
- 寒冷地仕様(リヤフォグランプ・ウインドシールドデアイサー等)



ブラック

Photo: LC500h "L package".

■ インテリアカラー



オーカー*2



ダークローズ



ブルー&ホワイト

■ シートマテリアル(フロント)



セミアニリン本革(オーカー)*2



セミアニリン本革(ダークローズ)



セミアニリン本革(ブラック)



セミアニリン本革(ブルー&ホワイト)

*1.タイヤチェーンを装着することはできません。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

*2.インテリアカラーでオーカーを選択した場合、メーターフードはアルカンターラ®となります。

*3.トルセン®LSDを選択した場合、アクティブコーナリングアシスト[ACA]は装着されません。

*4.トルセン®LSDとフロント・リヤブレーキ(高摩擦ブレーキパッド付)は同時装着となります。

また、スポーツモード付VDIMが同時に装着され、EXPERTモードが選択可能になります。

= メーカーオプション

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

LC500 Convertible



Photo: LC500 Convertible。ボディカラーはテレーンカーキマイカメタリック(6X4)。
フロント245/40R21+リヤ275/35R21タイヤ&鍛造アルミホイール(切削光輝+スーパーグロスブラックメタリック塗装)はメーカーオプション。



Photo: LC500 Convertible.



全自動式ソフトトップルーフ



フロント245/40R21+リヤ275/35R21タイヤ&
鍛造アルミホイール
(ブラック+ハイパークロムメタリック塗装)*1



フロント245/40R21+リヤ275/35R21タイヤ&
鍛造アルミホイール
(切削光輝+スーパーグロスブラックメタリック塗装)*1

Convertible

その他の標準装備 (110ページのその他の標準装備から追加・変更される装備)

- ウィンドウフレア
- 合成皮革メーターフード*2
- スカッフプレート(ステンレス/パッド付)
- コンバーチブル専用運転席・助手席セミアニリン本革シート(ベンチレーション機能・ヒーター付)&後席Ltexシート
- ネックヒーター+エンボスマーク付マニュアルヘッドレスト(運転席・助手席)
等

その他のメーカーオプション

- トルセン®LSD*3
- オートマチックトランミッション(AT)オイルクーラー
- オレンジブレーキキャリバー(フロント・リヤLEXUSロゴ)
- フロント245/40R21+リヤ275/35R21ランフラットタイヤ&鍛造アルミホイール
(ブラック+ハイパークロムメタリック塗装)*1
- フロント245/40R21+リヤ275/35R21ランフラットタイヤ&鍛造アルミホイール
(切削光輝+スーパーグロスブラックメタリック塗装)*1
- カラーヘッドアップディスプレイ*4
- “マークレビンソン”リファレンスサウンドサウンドシステム
- 寒冷地仕様(リヤフォグランプ・ウインドシールドデアイサー等)

*1.タイヤチェーンを装着することはできません。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

*2.インテリアカラーでオーカーを選択した場合、メーターフードはアルカンターラ®となります。

*3.トルセン®LSDを選択した場合、アクティブコーナリングアシスト[ACA]は装着されません。

*4.インテリアカラーでブルー&ホワイトを選択した場合、カラーヘッドアップディスプレイが同時装着となり、メーカーオプション価格が別途加算されます。カラーヘッドアップディスプレイは単独での選択も可能です。

■ インテリアカラー



ブラック



ダークローズ



ブルー&ホワイト*4

■ シートマテリアル(フロント)



セミアニリン本革(ブラック)



セミアニリン本革(ダークローズ)



セミアニリン本革(ブルー&ホワイト)*4

■ インテリアとルーフの配色

インテリアカラー	ルーフカラー	
	室外	室内
オーカー*2	サンドベージュ	オーカー
ブラック	ブラック	ブラック
ダークローズ	レッド	ブラック
ブルー&ホワイト*4	ブラック	ブラック
	マリーンブルー	ホワイト

=メーカーオプション

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

EQUIPMENT CHART

■ パッケージ別主な標準装備比較

	LC500h / LC500		LC500
	Coupe		Convertible
	"S package"	"L package"	
ルーフ			
アルミホイール			
アクティブリヤウイング		—	—
フロントシート			
スカッフプレート			

	LC500h / LC500		LC500
	Coupe		Convertible
	"S package"	"L package"	
メーター			
メーターフード		—	
インストルメントパネル		—	
ルーフ/サンバイザー/ピラー・ルーフサイドガーニッシュ			
ドアトリム		—	

